

東京文化戦略2030

3か年のアクションプラン(2026 - 2028)

令和8年（2026年）3月

生活文化局

目次

「戦略」と戦略実行のための「推進プロジェクト」（体系図）	3
戦略1 人々のウェルビーイングの実現に貢献する	4
戦略2 人々をインスパイアする	35
戦略3 芸術文化のハブ機能を強化する	54
戦略4 持続性のある芸術文化エコシステムを構築する	67

「東京文化戦略2030アクションプラン」とは

- 東京都は、2022年度から2030年度までの間における東京都の文化行政の方向性や重点施策を示した「東京文化戦略2030」（以下「文化戦略」という。）を2022年3月に策定しました。
- この文化戦略では、2040年代における東京のあるべき姿（将来像）を描き、その実現に向けた4つの戦略及び10の推進プロジェクトを位置づけています。
- この推進プロジェクトに基づき、**東京都、東京都歴史文化財団及び東京都交響楽団が重点的に実施する事業の3か年計画を定めたものが「東京文化戦略2030アクションプラン」（以下「本アクションプラン」という）**です。
- 2030年に向け、本アクションプランに記載する各事業を着実に進めることで、文化戦略が目指す将来像の実現を図っていきます。
- なお、本アクションプランは2026年3月時点で想定している内容であり、事業の進捗や社会経済情勢等の状況を踏まえ、毎年度更新する計画です。

4つの「戦略」 及び 10の「推進プロジェクト」 (体系図)

戦略1 誰もが芸術文化に身近に触れられる環境を整え、
人々の幸せに寄与する



～人々の**ウェルビーイング**の実現に貢献する～

プロジェクト1

地域活性化プロジェクト (芸術文化の敷居を低くする取組)

プロジェクト2

だれもが文化でつながるプロジェクト

プロジェクト3

キッズ・ユース (Kids and Youth) ・プロジェクト

戦略2 芸術文化の力で、人々に喜び、感動、新たな
価値の発見をもたらす



～人々を**インスパイア**する～

プロジェクト4

スマート・カルチャー・プロジェクト(デジタルテクノロジーを活用する取組)

プロジェクト5

「アートのある生活」プロジェクト

プロジェクト6

アート&エンターテインメント・プロジェクト

戦略3 国内外のアートシーンの中心として、世界を
魅了する創造性を生み出す



～芸術文化の**ハブ**機能を強化する～

プロジェクト7

アート・ハブ (Art Hub) ・プロジェクト

プロジェクト8

海外発信プロジェクト

戦略4 アーティストや芸術文化団体等が継続的に
活動できる仕組みをつくる



～持続性のある芸術文化**エコシステム**を構築する～

プロジェクト9

アーティスト・ステップアップ・プロジェクト

プロジェクト10

担い手育成・支援&創作環境向上プロジェクト

戦略 1

人々のウェルビーイングの実現に貢献する

プロジェクト1

地域活性化プロジェクト

- 1-1 東京大茶会
- 1-2 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～
- 1-3 ヘブンアーティスト
- 1-4 地域で芸術文化に親しめる環境創出事業
- 1-5 地域芸術文化活動応援助成
- 1-6 伝統芸能体験活動助成
- 1-7 アート・カルチャー体験100
- 1-8 TOKYO CITY CANVAS
- 1-9 アーツカウンシル東京のリーサーチ機能強化
- 1-10 江戸東京伝統芸能祭
- (再掲) 6-7 東京国際文化芸術祭
- (再掲) 8-8 江戸文化の魅力発信
- (再掲) 10-10 近現代住宅建築の文化的活用・発信事業

1 - 1 東京大茶会

【事業概要】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語や手話で解説をする茶席や野点、日本の伝統文化を楽しめるワークショップやパフォーマンスなどによる大規模な茶会を江戸東京たてももの園及び浜離宮恩賜庭園で開催し、誰でも気軽に茶会に参加できる機会を提供する。【事業開始年度 平成20年度（2008）】

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

【3年後の目標】

地域の団体等と連携し、参加誘因策や効果的な広報手段等も図りながら、伝統文化に触れる機会がなかった人々にも参加、体験する機会を提供し、さらなる普及が図られている。

担い手の減少等により衰退の危機にある伝統文化について、その魅力を発信するとともに、子供や若者が体験や参加することにより、次世代へ継承するきっかけとなっている。

【2025年度実績】

茶席や野点、伝統芸能のパフォーマンス等を楽しめる茶会を開催

開催時期・場所：

2025年10月4日（土）、5日（日）浜離宮恩賜庭園（中央区）

2025年10月18日（土）、19日（日）江戸東京たてももの園（小金井市）

プログラム：茶席、野点、子供と楽しむ茶席、英語で楽しむ茶席・野点、高校生野点

その他プログラム：華道体験、ヘブンアーティストによる伝統芸能のパフォーマンス等

来園者数：約1万6千人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京大茶会	開催準備 → ★ 開催（秋ごろ） ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

【事業概要】

多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や屋外ステージを舞台にした本格的な公演などをフェスティバルとして実施し、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信する。【事業開始年度 平成28年度（2016）】
 主催：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
 助成・協力：東京都

【3年後の目標】

多くの多摩地域の市町村と連携・協力体制を構築し、参加誘因策や効果的な広報手段等も図りながら、街なかに様々な伝統文化が集う多彩なフェスティバルに発展している。
 伝統文化に馴染みのない方々も気軽に親しめる多様なプログラムにより、伝統文化の鑑賞・参加機会を提供するとともに、若手実演家へ活躍機会を設けるなど、地域に根差している伝統芸能を次世代へ継承するきっかけとなっている。

【2025年度実績】

多摩地域の伝統文化・芸能に親しめるフェスティバルを開催

開催時期：2025年7月5日（土）、6日（日）
 開催場所：JR八王子駅北口西放射線ユーロードの一部、いちょうホール（八王子市）他
 プログラム：八王子芸妓衆、八王子車人形、祭囃子、茶会、影絵<写し絵>、多摩織展示、人力車乗車体験、体験（Kinon・昔の遊び・織物）等

来場者数：約1万5千人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェ スティバル～	★ 開催 開催準備 →	事業の評価・検証を反映し運用 	
	☆	☆	☆

1-3 ヘブンアーティスト

【事業概要】

都が審査・選定し、ライセンスを発行したアーティストに、都立公園や都内民間施設などの公共空間を活動場所として開放することで、都民や東京都を訪れた方が気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、アーティストの技芸研鑽の場を確保し、新たな文化創造支援と東京の魅力発信を図る。【事業開始年度 平成14年度（2002）】

（登録アーティスト：パフォーマンス部門412組、音楽部門98組 2025年11月末時点）

【3年後の目標】

都民や東京を訪れる方に身近な場所での実演はもとより、大規模イベントを発信の機会と捉えて、都民が身近に文化を体験でき、アーティストが創造・表現する場を創出している。

【2025年度実績】

都内55施設75カ所を活動場所として開放。日常のまちなかでのパフォーマンスを通じて気軽に芸術文化に触れる機会を提供

- ・2025年7月、TOKYO FORWARD 2025 for 世界陸上の会場で公演を実施
- ・2025年9月30日(火)～10月2日(木)に公開審査会を実施。応募アーティスト197組のうち27組が合格し、ヘブンアーティストとして登録（パフォーマンス部門24組、音楽部門3組）
- ・2025年10月24日(金)～26日(日)に上野恩賜公園でヘブンアーティストTOKYO2025を開催。約140組のアーティストが一堂に会し、パフォーマンスを披露（3日間の観客数：約24,000人）
- ・2025年11月、東京2025デフリンピック関連会場（開閉会式会場、デフリンピックスクエア中央広場・小ホール）で公演を実施
- ・2026年1月12日(月・祝)に渋谷駅周辺でヘブンアーティストIN渋谷を開催。14組のアーティストがパフォーマンスや音楽演奏を披露（観客数：約2,400人）

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
ヘブンアーティスト	主催・共催イベント：年4回 アーティストの日常活動 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	

1 - 4 地域で芸術文化に親しめる環境創出事業

【事業概要】

地域のニーズや課題に即したプログラムの提供やアートプロジェクトを都と多様な主体（区市町村、NPO、企業等）が連携して展開することで、地域の日常のなかで都民が気軽に芸術文化に触れる機会を創出するとともに、地域（区市町村）の芸術文化活動を軸に場や人が活性化することを推進する。

（令和6年度に、令和5年度開始の区市町村連携事業と東京アートポイント計画を統合）

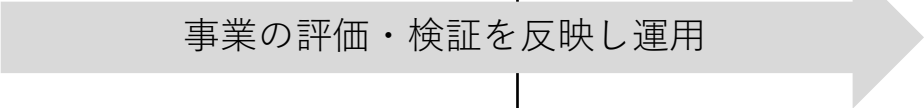
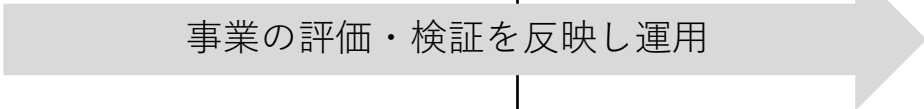
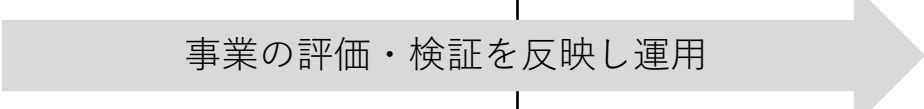
【事業開始年度 令和5年度(2023)（東京アートポイント計画事業は平成21年度開始）】

【3年後の目標】

都内各自治体で展開される様々な文化施策の知見と共有が進むよう、都がネットワークの核となるとともに、芸術文化を鑑賞・体験する(しない)人の地域別割合等も分析しながら、地域のニーズや課題に即した様々な連携事業を都内各所で展開することで都民が身近に芸術文化へ触れられる環境を広げている。

【2025年度の実績】

- ・東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議：2回開催（2025年6月、2026年2月）
- ・区市町村等職員向け文化行政講座：3回実施（2025年6月、12月、2026年2月）
- ・東京都・区市町村連携事業：3区市と実施。
府中市(2025年4月～2026年3月)、国分寺市（2025年4月～2026年3月）、
港区(2025年12月～2026年3月)
- ・東京アートポイント計画：
まちなかなどでアートに触れる機会を創出するため、アーティストと市民が協働するアートプロジェクトを6件実施。
環境整備事業として、官民パートナーシップをテーマとした講座、伴走型支援をテーマとしたフォーラムなどを開催。

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京都・区市町村文化行政ネットワーク会議	★第1回 (春) ★第2回 (秋冬) ☆	 ☆	☆
区市町村等職員向け講座	年間3回程度実施 → ☆	 ☆	☆
区市町村連携事業・拠点形成事業・実践型地域連携事業(仮)・地域連携講座	希望調査・事業企画実施・アートプロジェクト実施 → ☆	 ☆	☆

1 - 5 地域芸術文化活動応援助成

【事業概要】

都内の各地域の特色ある文化の醸成・発展を促進する芸術文化活動や、都内の各地域の文化財や文化資源を未来に向けて継承し、その魅力を地域内外に広く発信する取組を支援する。【事業開始年度 令和5年度（2023）】

【3年後の目標】

都内の無形民俗文化財の公開活動や有形文化財を活用した事業、地域の文化資源を活用する事業や文化的魅力を高める事業を支援することで各地域の振興に寄与している。

【2025年度の実績】

助成上限額 : 50万円(区分1)、200万円(区分2)

区分2は多くの人(1,000人以上目途)が参加する事業が対象

助成率 : 1/2

申請受付 : 【第1期】2025年1月8日～2月12日

【第2期】2025年5月14日～6月18日

採択(申請)件数 : 【第1期】32(71)件、【第2期】30(83)件

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
地域芸術文化活動 応援助成	地域の芸術文化に誰もが触れ 参加できるような環境づくり、 芸術文化を通じた地域の活性化 や地域振興を目的とする活動 を助成により支援 ☆	☆	☆

事業の評価・検証を反映し運用

1 - 6 伝統芸能体験活動助成

【事業概要】

伝統芸能のさまざまな種目について、初めての人でも入り易く、かつ継続的に自ら実技体験ができる事業を助成する。

【事業開始年度 令和3年度（2021）】

【3年後の目標】

伝統芸能の面白さを体感する機会の提供を後押しし、伝統芸能が暮らしの中に根づき日常的にお稽古に通う人の拡充へとつなげることで、伝統芸能の振興に寄与している。

【2025年度の実績】

助成上限額：100万円

助成率：1/2

申請受付：2025年3月4日～5月8日

採択(申請)件数：20 (38) 件

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
伝統芸能体験活動助成	伝統芸能の振興に向けて、自ら伝統芸能の実技体験を行う人が増えるための取り組みを助成により支援 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

1-7 アート・カルチャー体験100

【事業概要】

都立文化施設の体験型事業（1日～短期、通年実施プログラム、オンラインプログラム）の情報を集約し、ウェブサイトで発信することにより、都民が芸術文化を気軽に体験できるようにする。【事業開始年度 令和元年度（2019）】


【3年後の目標】

閲覧を増加させるための広報施策等を実施のうえ、正確でタイムリーかつ分かりやすい情報発信等を通じて、芸術文化体験の機会の創出を増加させる。

【2025年度の実績】

PV数 : 9,531PV（2025年4月1日～2026年1月31日現在）

新規公開件数 : 331件（2025年4月1日～2026年1月31日現在）

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アートカルチャー 体験100	情報の発信・広報施策の実施 		

※歴史文化財団自主事業

1 - 8 TOKYO CITY CANVAS

【事業概要】

工事現場の仮囲い等をキャンバスに見立てたアートプロジェクトの展開を通じて、誰もが身近にアートを楽しむ環境創出やアーティストの活動領域の拡大を推進【事業開始年度 令和6年度（2024）】

【3年後の目標】

都有施設でのアート掲出や民間助成を通じて東京にアートの景色を広げていく取組を進めるとともに、SNSを通じた優良事例や助成事業の発信・紹介を図るとともに、工事現場アートの魅力や進め方を示したガイドブックを用いて自治体の担当者や民間事業者へ直接説明する機会も設けながら都民や事業者の魅力や理解を広げていく。

【2025年度実績】

● 都有施設（直営）

旧こどもの城跡地：2026年2月～2027年2月頃（予定）
（荒井 良二/はっぴいさんTheater）

● TOKYO CITY CANVAS助成（民間助成）

助成上限額：製作・施工費 1000万円 助成率1/2
アート・デザイン制作費 300万円 助成率10/10
申請受付：【第1期】 2025年 6月20日～2025年8月12日
【第2期】 2025年12月12日～2025年1月28日
採択（申請受付）件数：【第1期】 2件（申請受付：4件）
【第2期】 2件（申請受付：5件）

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
都有施設（直営）	3か所程度で新規掲出 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆
TOKYO CITY CANVAS助成	公募・助成 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆
優良事例の紹介等	優良事例の紹介 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

1 - 9 アーツカウンシル東京のリサーチ機能強化

【事業概要】

アーツカウンシル東京に「東京の文化」に関するコンサル・リサーチ機能を導入し、データに基づく施策・方針づくりに活用。
【事業開始年度 令和7年度（2025）】

【3年後の目標】

都全体の政策と文化政策をつなぐ効果的な調査結果が蓄積しており、そのリサーチ成果を施策・方針づくりに活用。また、区市町村にも共有し、東京全体の文化振興や地域活性化につなげるとともに、国内外の会議やシンポジウム等で成果発信し、都のプレゼンス向上やネットワーク拡大につなげている。

【2025年度実績】

アーツカウンシル東京でのリサーチ体制を整備し、「東京の文化」に関して、政策課題に資する調査などの3テーマ（7件）の調査を実施し、文化資源、政策ニーズ・トレンド等を収集・分析。
リサーチデータ及び分析結果を整理の上、庁内、区市町村、芸術団体等に共有（予定）。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
リサーチを実施	都内文化資源や政策課題に関する調査・分析を実施 リサーチ成果を施策・方針づくりに活用 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

【事業概要】

江戸東京の伝統芸能の魅力を広く都民に伝えるとともにその振興を図るため、活性化に向けた支援を行うこととあわせ、都民が伝統芸能に親しむ鑑賞・体験機会を創出

【事業開始年度 令和7年度（2025）】

【3年後の目標】

江戸東京伝統芸能祭は、磨き抜かれた江戸東京の伝統芸能の技と芸術の奥深さを五感で体感でき、さらに新たな人材の発掘、若手実演家がチャレンジできる機会となり、幅広い世代が多彩なプログラムで伝統芸能をより身近に親しめる祭典として発展し、ひいては担い手の育成やファン層の拡大につながっている。

【2025年度実績】

都内各地で子供から大人まで楽しめ、本格的な舞台から入門編まで、多彩な伝統芸能を体験・鑑賞するプログラムを実施

実施期間：2025年10月～2026年3月

実施場所：三越劇場、浅草公会堂、国立能楽堂、矢来能楽堂、観世能楽堂、
調布市文化会館たづくり、荒川区民会館、東京芸術劇場 ほか

プログラム・参加者数：

式能	1,	179名
日本舞踊	2,	228名
邦楽演奏会		701名
民俗芸能		783名
寄席芸能	2,	156名
こども芸能体験ひろば		515名
実行委員会企画事業	4,	987名

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
江戸東京伝統芸能祭	開催準備  ★ 開催 (1月～3月 予定) ☆	 事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

プロジェクト 2

だれもが文化でつながるプロジェクト

2-1 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

2-2 アール・ブリュット

2-3 芸術文化による社会支援助成

2-4 芸術文化へのアクセシビリティ向上

2-1 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

【事業概要】

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など東京の社会課題の解決に取り組むため、芸術文化による社会包摂とウェルビーイングを推進する。

また、誰もが芸術文化を楽しめるように、文化施設・事業のアクセシビリティを向上させる情報保障ツールやサポートの先進的かつ質を高める取組を検証・展開する。 【事業開始年度 令和3年度(2021)】

【3年後の目標】

東京2025デフリンピック開催を契機に、誰もが芸術文化に触れられるよう、芸術文化へのアクセシビリティ向上の取組をさらに進め、その取組や成果について国際カンファレンス等で発信することで、国内外に取組が広がり、社会包摂とウェルビーイングにおける東京の先進性により、都市のプレゼンスを高めている。

文化施設やNPO等と連携し実施するパートナープログラムの取組が社会全体に波及し、多様な人々が芸術文化を楽しめている。

【2025年度の実績】

- ・「だれもが文化でつながるオータムセッション－居場所とわたし－」を開催
(2025年10月20日(月)～2025年10月23日(木))
- ・文化施設や外部団体等と連携して取り組むパートナープログラムを実施
- ・TURN LAND プログラムを都内(区部)で実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
だれもが文化でつながる会議	国際会議を開催 ☆	国内での取り組みを実施 ☆	国内での取り組みを実施 ☆

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
<p>高齢者、障害者、外国人、乳幼児等多様な人々を対象とした、環境整備のためのプログラムの実施</p>	<p>文化施設やNPO等と連携して調査・検証・開発を実施</p> <p style="text-align: right;">☆</p>	<p style="text-align: center;">事業の評価・検証を反映し運用</p> <p style="text-align: right;">☆</p>	<p style="text-align: right;">☆</p>
<p>他分野連携プログラム（TURN LAND プログラム）の実施</p>	<p>【TURN LAND】プレLANDからの移行施設・団体検討、実施体制の構築、プログラム実施</p> <p>【プレLAND】参加団体・アーティスト等の調査及びマッチング、実施体制の構築、プログラム実施</p> <p style="text-align: right;">☆</p>	<p style="text-align: center;">事業の評価・検証を反映し運用</p> <p style="text-align: right;">☆</p>	<p style="text-align: right;">☆</p>

※TURN LAND プログラムは福祉事業所・施設や社会的支援を行う団体がアーティストとともにアートプロジェクトを企画し、実践するプログラムです。プロジェクトの実践を通して多様な価値観や特性への理解を深めながら、より魅力的な活動を日常の中に生み出します。

2-2 アール・ブリュット

【事業概要】

アール・ブリュット(※)を含む様々な作品、作家とその背景を通じた展示等により、人々が多様な創造性に触れ、新たな価値の発見につながる機会を創出する。

※アール・ブリュット (Art Brut) は、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフエによって提唱されたことば。今日では、広く、専門的な美術の教育を受けていない人などによる、独自の発想や表現方法が注目されるアートを表す。

【事業開始年度 平成29年度 (2017)】

【3年後の目標】

アール・ブリュットの拠点となる渋谷公園通りギャラリーでの展示会のほか、区市町村と連携した巡回展での展示等を通じて作家の発信機会とアール・ブリュット 作品に触れる機会が充実することで、他者への共感と理解の深化、創造性の発揮など芸術文化が持つ多様な価値と役割が社会により浸透している。

【2025年度の実績】

・渋谷公園通りギャラリーで4つの展示会を開催

・区市町村等と連携して巡回展を開催

[展示会]

・プリモホールゆとろぎ (羽村市生涯学習センター) 展示室 2026年1月15日 (木) から1月25日 (日) まで

・板橋区立成増アートギャラリー 2026年1月31日 (土) から2月9日 (月) まで

[出張イベント]

・八丈町多目的ホールおじゃれ(八丈町役場) 大集会室 2025年12月6日(土)

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
拠点での展示事業等	年4回の展示会等を開催 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
区市町村と連携した巡回展・イベント	都内で区市町村等と連携した展示等を実施 (3か所) ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	

2 - 3 芸術文化による社会支援助成

【事業概要】

さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動を支援する。【事業開始年度 平成27年度（2015）】

【3年後の目標】

経済的理由による鑑賞・体験格差にも着目し、子供の芸術鑑賞や体験機会の格差解消に取り組む事業を重点的に支援するなど社会情勢を捉えた制度の見直しを適宜図ることで、様々な理由により芸術への参加機会を制限されている人々が芸術文化を享受できる環境の整備に寄与している。

【2025年度の実績】

助成上限額 : 200万円

助成率 : 2/3

申請受付 : 【第1期】2025年2月4日～3月4日

【第2期】2025年7月1日～8月5日

採択(申請)件数 : 【第1期】16 (58) 件、【第2期】12 (41) 件

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
芸術文化による 社会支援助成	芸術文化の特性を活かし社会 や都市のさまざまな課題に取り 組む活動を助成により支援 ☆	☆	☆

事業の評価・検証を反映し運用

2-4 芸術文化へのアクセシビリティ向上

【事業概要】

都立文化施設において、手話通訳をはじめとした公演の鑑賞等を支援する環境整備の推進や、民間事業に対する鑑賞サポート費の助成等を実施。【事業開始年度 令和6年度（2024）】

【3年後の目標】

都立文化施設での環境整備はもとより、助成制度を通じた民間事業でも鑑賞サポートの提供が増加することでノウハウの蓄積や人材育成などが進み、社会全体にアクセシビリティを向上させていく機運と基盤整備が進展している。

【2025年度の実績】

- ・都立文化施設や都の文化事業において、展覧会・公演などの鑑賞を支援するツールの導入や、情報保障付きプログラムの拡充
- ・2024年度に創設した東京芸術文化鑑賞サポート助成を継続、世界陸上・デフリンピック本番年の特別枠「2025機運醸成枠」を新設し、103団体・158事業を採択
- ・人材育成として芸術文化分野の手話通訳研修プログラムや2025年度からアクセシビリティコーディネーター講座を新たに実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
芸術文化へのアクセシビリティ向上	都立文化施設の環境整備 東京芸術文化鑑賞サポート 助成の実施 取組や成果の周知・発信 芸術文化分野での人材育成 →	事業の評価・検証を反映し運用	→
	☆		

プロジェクト 3

キッズ・ユース（Kids and Youth）プロジェクト

3-1 キッズ伝統芸能体験

3-2 子供のための伝統文化・芸能体験事業

3-3 パフォーマンスキッズ・トーキョー

3-4 Shibuya StreetDance Week

3-5 TACTフェスティバル

3-6 Music Program TOKYO（ミュージックワークショップ他）

3-7 Museum Start あいうえの

3-8 ウェルカムユース

3-9 ネクスト・クリエイション・プログラム

3-10 TOKYOカルチャーデビュー

（再掲）5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

3 - 1 キッズ伝統芸能体験

【事業概要】

伝統芸能のプロの実演家が、本格的な稽古場で子供たちに直接指導を行い、その成果を本物の舞台上で発表することにより、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法や厳しさなどを体験できる学びの場を提供する。本格的な伝統芸能の体験を通じて、伝統芸能に対する興味・関心を高める。【事業開始年度 平成20年度（2008）】

【3年後の目標】

子供向けのプログラムを定期的かつ継続的に実施することにより、子供たちが伝統芸能をはじめ、日本の文化への興味を抱き、ファンとなるなど、次世代へ継承するきっかけとなっている。

【2025年度の実績】

子供たちがプロの実演家から伝統芸能の本格的な稽古を受け、舞台発表を体験するプログラム15コース（能楽・長唄・三曲・日本舞踊）を実施

○スタンダードプログラム（小中高生向け）

⇒それぞれの年齢層にあわせたきめ細かいお稽古を12コース実施

実施期間：2025年9月～2026年3月

実施場所：芸能花伝舎（新宿区）、梅若能楽学院会館（中野区）、たましんRISURUホール（立川市）ほか全8か所

○ユースプログラム（中高生向け）

⇒集中力をもって深い理解を目指す内容の濃いお稽古を3コース実施

実施期間：2025年9月～2026年3月

実施場所：新宿区立大久保スポーツプラザ（新宿区）ほか全3か所

○発表会

開催時期：2026年3月

開催場所：国立能楽堂（渋谷区）、浅草公会堂（台東区）

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
キッズ伝統芸能体験	<p>募集等 → 稽古 → 発表(3月) ★</p> <p>☆</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>☆</p>	<p>☆</p>

3-2 子供のための伝統文化・芸能体験事業

【事業概要】

子供たちに対し、伝統芸能の実演家や職人を講師とする体験・鑑賞プログラムを、身近な学校という場で実施する。体験を通じて、日本文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い知識を育む。

【事業開始年度 平成27年度（2015）】

【3年後の目標】

子供たちへ伝統芸能における鑑賞・参加機会を提供することにより、子供たちが伝統芸能をはじめ、日本の文化への興味を抱き、ファンになるなど、次世代へ継承するきっかけとなっている。

【2025年度の実績】

都内（区部・多摩・島しょ部）の学校で、子供たちが伝統文化・芸能を体験するプログラムを実施

実施期間：2025年5月～2026年2月



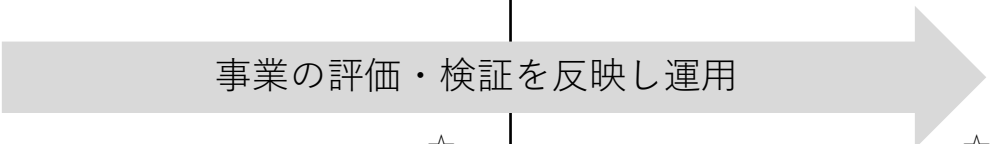

実施場所：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等

ジャンル：16ジャンル

（謡・仕舞、狂言、日本舞踊、歌舞伎音楽、雅楽、箏、三味線、和楽器いろいろ、落語、紙切り、和妻、糸あやつり、八王子車人形、江戸木版画、江戸表具、東京手描友禅）

学校数：60校程度

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
子供のための 伝統文化・芸能 体験事業	実施準備  事業実施  ☆	 事業の評価・検証を反映し運用 ☆	 ☆

3-3 パフォーマンスキッズ・トーキョー

【事業概要】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロのアーティストを、都内の小中学校・特別支援学校やホール、文化施設、児童養護施設等に派遣し、10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品を作り上げる。最後に発表公演を行い、子供たちの保護者をはじめ地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。

【事業開始年度 平成20年度（2008）】

【3年後の目標】

子供たちへ良質なダンス、演劇、音楽等の芸術文化に触れられる機会を提供し、アーティストと共に舞台作品を作り上げることによって、子供たちの創造性や自主性、コミュニケーション能力、チャレンジする力、発想力等が育ち、親子で芸能文化の価値に対する理解が深まっている。

【2025年度の実績】

都内（区部・多摩・島しょ部）の学校等で、子供たちがプロの現代アーティストと舞台作品を作るプログラムを実施

実施期間：2025年5月～2026年3月（ワークショップは8～10日間程度）

実施場所：小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、
新宿文化センター（新宿区）、野方区民ホール（中野区）、狛江エコルマホール（狛江市）、
あきる野ルピア（あきる野市）、プリモホールゆとろぎ（羽村市）等

ジャンル：ダンス、演劇、音楽等

プログラム数：30プログラム程度

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
都内学校・ 特別支援学校での ワークショップ	<p>【子供】応募・練習参加 【アーティスト】指導・交流・創造</p> <p>発表 講評・公演</p> <p>→</p> <p>☆</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>→</p> <p>☆</p>	<p>☆</p>
文化施設での ワークショップ	<p>【子供】応募・練習参加 【アーティスト】指導・交流・創造</p> <p>発表 講評・公演</p> <p>→</p> <p>☆</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>→</p> <p>☆</p>	<p>☆</p>

3 - 4 Shibuya StreetDance Week

【事業概要】

新しい芸術文化としてのストリートダンスの確立と、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ、良質なエンターテインメントを発信し、渋谷をより活力にあふれた街にすることを目的に、国内最大規模のストリートダンスの祭典を代々木公園を中心に開催する。【事業開始年度 平成27年度（2015）】

【3年後の目標】

ユース層によるダンス等の芸術文化を鑑賞・参加する機会が増加するとともに、コンテスト参加やプログラム鑑賞を通じて、仲間と連帯して新しい表現を創作するなど、創造力や発想力の育成に貢献している。

【2025年度の実績】

ストリートダンスのステージプログラム、ワークショップ等を行うフェスティバルを開催


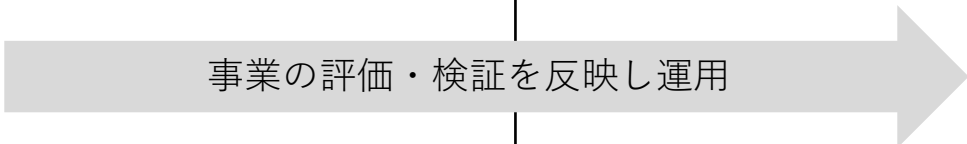
開催時期：2025年11月22日（土）

開催場所：代々木公園（渋谷区）

プログラム：テーマソングに合わせて出演者・来場者が一体となって踊る参加型プログラム、多彩なチームが参加するステージプログラム、チーム型のストリートダンスコンテスト、ダンスのスキル・表現力・オリジナリティを即興で競い合うバトル、あらゆる世代が参加できるダンスワークショップ

来場者数：約2万7千人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
Shibuya StreetDance Week	開催準備  ★ 開催（11月） （代々木公園、渋谷エリア） ☆	 事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

3-5 TACTフェスティバル

【事業概要】

子供の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の舞台芸術家を招聘し、子供だけでなく親子で、そして大人も楽しむことのできる上質の舞台公演やパフォーマンスを東京芸術劇場で上演する。

【事業開始年度 平成22年度（2010）】

【3年後の目標】

参加誘因策と広報に工夫を凝らし池袋での風物詩的な事業として認知を得る。国内外の上質の舞台公演やパフォーマンスを上演することで、大人も楽しめる事業にするとともに、子供や青少年が本格的な舞台芸術に触れる機会を増やす。

【2025年度の実績】

開催期間：2025年5月4日（日）～5月6日（火）

開催場所：東京芸術劇場ほか

来場者数：5,738人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
TACTフェスティバル	<p>★ 開催（5月・芸劇）</p> <p>海外広報の強化 →</p> <p>☆</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>☆</p>	<p>☆</p>

3 - 6 Music Program TOKYO (ミュージックワークショップ他)

【事業概要】

子供向けに年齢に応じたミュージックワークショップを実施 (Workshop Workshop!) するとともに、教育プログラムでは都内教育機関におけるアウトリーチコンサートやワークショップ (Music Education Program)、小学生、中高生を対象とする舞台芸術事業 (Enjoy Concerts!) を実施するなど、子供が芸術文化に主体的に取り組み、成長と共にステップアップする事業を東京文化会館等で展開する。【事業開始年度 平成25年度 (2013)】

【3年後の目標】

東京文化会館の休館中も舞台芸術事業、ミュージックワークショップを初めとする各種主催事業 (アウトリーチを含む) を継続実施し、子供含め、都民が芸術文化に親しめる機会を継続的に提供する。

【2025年度の実績】

開催期間：通年

開催場所：東京文化会館、東京芸術劇場ほか都内文化施設等

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
Music Program TOKYO	<p>Workshop Workshop! → 通年で館内や都内文化施設と連携して実施</p> <p>Music Education Program → 通年で都の教育機関と連携したアウトリーチ 夏休みに他の文化施設と連携したオペラワークショップ</p> <p>Enjoy Concert! シアター・デビュー・プログラム他 → ☆</p>	<p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p>☆</p>	<p>☆</p>

3 - 7 Museum Start あいうえの

【事業概要】

東京都美術館と東京藝術大学が推進役となって上野公園の日本を代表する9つの文化施設が連携し、こどもたちの「ミュージアム・デビュー」を応援し、すべてのこどもが文化やアートを介して「社会に参加しつながりを持つこと」を推進するプロジェクトであり、文化を介して人々のコミュニケーションの機会を作り、人々の平等性、多様性を肯定し、人々の関わり合いを育み、人々のウェルビーイングを高める。【事業開始年度 平成25年度（2013）】

【3年後の目標】

これまで培ってきた活動を継続させるとともに、日常においてミュージアムを縁遠く感じているファミリーやティーンズにも「参加してみたい」と魅力的に捉えてもらえるような広報戦略を展開する。新規参加者層を開拓することで、より一層プロジェクトを定着させ、ミュージアム・デビューするこどもが増えている。

【2025年度の実績】

東京都美術館等9つの文化施設において各種プログラムを実施。
こどものプログラム参加者数：1,227名（2025年12月末までの実績）

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
Museum Start あいうえの	学校プログラム、ファミリー &ティーンズ・プログラム、 ダイバーシティプログラム、 ミュージアムコミュニティの 形成、教育ツールの制作、9 館連携ポータルサイトの展開 などを実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

3-8 ウェルカムユース

【事業概要】

若年層を都立文化施設へ無料招待する取組や、若い世代が主体的に参加できるイベントを開催することで、若年層が良質な芸術文化に触れる機会を提供する。【事業開始年度 平成31年度（2019）】

【3年後の目標】

公立・私立学校と連携した事業周知や多様な主体と連携した誘因策の検討などを通じて本事業の認知度を向上させ、若者の芸術文化鑑賞割合や都立文化施設への来場数が増加している。

【2025年度の実績】

Welcome Youth（ウェルカムユース）-2026春-の実施

[劇場・ホール] 2026年1月9日（金）～同年3月1日（日）の期間に実施する7つの公演に100名招待

[博物館・美術館] 2026年3月1日（日）～同年4月5日（日）

- ・対象施設：（公演）東京文化会館、東京芸術劇場
（展覧会）東京都庭園美術館、江戸東京たてもの園、東京都写真美術館、東京都現代美術館、東京都美術館
- ・実施内容：①18歳以下を対象に対象施設の公演・展覧会観覧無料
②都営交通と連携した、博物館・美術館を巡るデジタル版スタンプラリー
- ・告知等：特設ウェブサイトの開設、都内高校へのポスター配布、SNS広告、都営地下鉄の駅・車両内告知 等

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
ウェルカムユース (展覧会等の無料観覧) (公演等の無料招待)	春休み期間を中心とした、 展覧会の無料観覧・公演等 の無料招待（18歳以下） ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
ウェルカムユース (告知・キャンペーンイベ ント)	都内学校への周知 SNS広告等 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	

※歴史文化財団自主事業

3-9 ネクスト・クリエイション・プログラム

【事業概要】

子供たちがより深く、より高いレベルで学ぶことができるよう、自らが興味関心を持つクリエイションの現場に入り、各分野の第一線で活躍するプロフェッショナルから指導を受けることができるプログラムを提供。

【事業開始年度 令和6年度（2024）】

【3年後の目標】

事業の認知度が向上し、プログラムの魅力が多くの子供や保護者に伝わり、子供たちが自らの興味関心のある様々な分野の芸術文化体験に参加しやすい環境となるとともに、人生の様々な選択肢を増やす契機となっている。

【2025年度の実績】

- ・映画と夏の7日間：
鑑賞・企画・撮影・編集までの一連の映画づくりを7日間で体験することで、表現する楽しさや工夫する面白さを学ぶプログラムを実施
- ・こどもファッションプロジェクト：
「ファッションアカデミー」と「ファッションムービー制作」の2つのプログラムを実施
- ・チームアップ！オペラ『泣いた赤おに』：
総合芸術であるオペラ等の体験を多摩地域で実施
- ・ファンタジスタ～アートとデザインで切り拓く未来のキャンパス～：
自然の原理や物事の仕組みを学びながら、アート作品制作と展示発表を実施
- ・みるラボ：つながりをつなげる：
聞こえない、聞こえにくい、聞こえる人が美術館で専門家と出会い、一緒に作品を鑑賞し、思考し、実践するプログラムを実施
- ・キッズユースオープンキャンパス：
都内の芸術系大学と連携し、小中学生向けオープンキャンパスを実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
ネクスト・クリエイション・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム拡充のうえ実施 ・特設サイト等において各プログラムの情報や参加者の声を発信 ☆ 	<p style="text-align: center;">事業の評価・検証を反映し運用</p> <p style="text-align: right;">☆</p>	<p style="text-align: right;">☆</p>

【事業概要】

子供たちへ文化体験を届けるプラットフォームとして、企業・文化団体など多様な主体と連携し、プログラム開発や情報発信などを一体的に推進

【事業開始年度 令和7年度（2025）】

【3年後の目標】

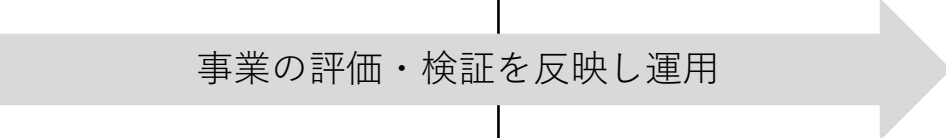
賛同企業・団体の輪を広げ、交流を深めるネットワークづくりを継続実施することで、多様な子供の文化体験のニーズに応えるプログラムの自発的創出が拡大するなど、社会全体での子供の文化体験への後押しが広がっている。

【2025年度の実績】

令和7年6月にTOKYOカルチャーデビューを立ち上げ、趣旨に賛同しプログラム等で連携する27の賛同企業・団体を獲得（2026年1月末現在）。情報交換、連携促進を図る交流会を実施した。

また、今後の事業展開に資するための子供の文化体験の現状や体験が与える効果等についての調査・検討・分析を実施した。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
TOKYOカルチャーデビュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛同企業・団体の獲得・交流の推進 ・ ポータルサイト整備 ・ 共創プログラム企画・実施 検証 ☆	 ☆	☆

戦略 2

人々をインスパイアする

プロジェクト 4

スマート・カルチャー・プロジェクト

4-1 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

4-2 シビック・クリエイティブ・ベース東京【CCBT】

(再掲) 6-6 芸術文化魅力創出助成

4-1 TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

【事業概要】

都立文化施設における情報通信基盤整備、デジタルコンテンツ化による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験の創出などにより、魅力的なコンテンツを創造・発信するプロジェクト。

【事業開始年度 令和4年度（2022）】

【3年後の目標】

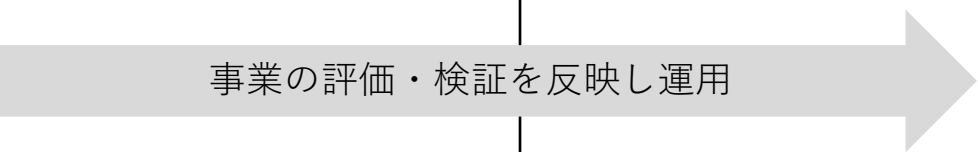
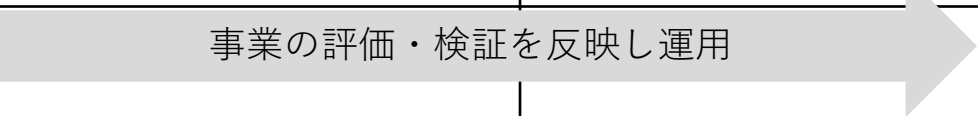
都立文化施設におけるデータベース拡充等による収蔵品の利活用、デジタルを活用したプログラムの企画開発、最先端技術を活用した新しい鑑賞体験などにより、魅力的なコンテンツを創造・発信する。

良質な芸術文化の鑑賞・参加・体験機会をリアル（オンサイト、オフライン）に加え、デジタルでの提供も拡充することにより、オンラインによる参加機会等の拡大を実現する。

【2025年度実績】

- ・Tokyo Museum Collectionにて収蔵品情報を公開(総公開数約37万/2025年度末時点)
- ・収蔵品の3Dデータや高精細画像を公開、活用
- ・江戸東京たてもの園では、教員向けの教材づくりワークショップを実施
- ・東京都庭園美術館展覧会では、模型・3Dディスプレイ展示、ARコンテンツ制作、シンポジウムを開催
- ・江戸東京博物館スマホアプリ第4弾「ハイパー江戸博 大正ロマン浅草編」を公開（シリーズ累計約34万ダウンロード /2026年2月現在）
- ・東京文化会館では、映像技術等を活用した音楽鑑賞サポートの開発・公開としてコンサートを開催

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
都立文化施設が有する収蔵品等の利活用（デジタルアーカイブの充実）	都立文化施設の文化資源のデジタルアーカイブ化・オープンデータ化/ 収蔵品の3Dデータ・高精細画像/3D等 を活用したハイブリッド展示/収蔵資料・貴重資料のデジタル化/ ☆	事業の評価・検証を反映し運用 	
デジタルを活用した新規プログラム企画開発/最先端技術を活用した新しい鑑賞体験の創造	学習支援としてのデジタルアーカイブ活用 音楽鑑賞サポートの開発・公開 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 	

【事業概要】

アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点。「Co-Creative Transformation of Tokyo (CX) ～クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」を掲げ、様々なプログラムを展開【事業開始年度 令和4年度（2022）】

【3年後の目標】

令和7年12月より原宿を拠点として活動を展開している。これまで培ってきたネットワークを活かしながら、地域や周辺企業・団体等の新たなステークホルダーとの関係を構築するとともに、共創し事業を展開していくことで、ステートメントである「Co-Creative Transformation of Tokyo (CX) ～クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える」を実現していく。

【2025年度実績】

- ・活動拠点の賃貸借契約終了に伴い、活動拠点の移転を実施。これまでの渋谷での活動を承継・発展させるため、原宿エリアにて、リニューアルオープンした。
- ・リニューアルオープンに際しては、オープニングイベントとして、海外文化機関との連携も含めて多数のプログラムを実施。また、スタートアップとの官民協働を推進。
- ・クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市に変える表現・探求・アクションを作り出すアーティスト・フェロー5組を公募（応募総数122件）。都内各所にて展示会やワークショップ等も実施。
- ・「MEET YOUR ART FESTIVAL 2025」「Roof Park Fes & Walk」などのイベントと連携し、CCBT発のクリエイションをまちへ展開。
- ・オーストリアの文化機関「アルスエレクトロニカ」と連携し、リンツ市で開催された世界最大規模のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル2025」にCCBTアーティスト・フェローが出展。
- ・ソウル文化財団との連携を通じて、韓国ソウルで開催されたアートフェスティバルにCCBTアーティスト・フェローが出展。

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
コアプログラムの推進	アーティスト・フェローの創作活動支援 子供向けワークショップ、未来提案型 キャンプ等の実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆
多様なパートナーとの連携	移転先（原宿エリア）での活動展開、 まち・海外文化機関等との連携 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

プロジェクト5

「アートのある生活」プロジェクト

5-1 現代アートの振興事業

5-2 ライフウィズアート

5-3 東京アートブックフェア

5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

(再掲) 10-10 近現代住宅建築の文化的活用・発信事業

5 - 1 現代アート の 振興事業

【事業概要】

「アートウィーク東京」や民間と共催するアートイベントを通じて多くの人々が現代アートと出会う機会をつくとともに、イベントの機会を捉えて、コレクター志望者向けのセミナーや若年層向けのガイドツアー、トークセッション・シンポジウムなど多彩な教育プログラムを展開することで、アートファンの裾野拡大を図り、東京のアート市場の活性化につなげていく。アーティスト支援策としても、自立した継続的な活動を目指すアーティスト向けに作品のコンセプトと発信力の向上を図るプログラムを実施。さらに、芸術文化を気軽に生活の中に取り入れられるよう、絵画作品を貸し出す（アートライブラリー）など新たな仕組みの検討も進める。

【事業開始年度】アートウィーク東京：令和3年度（2021）、Meet Your Art Fes、Tokyo Artist Accelerator Program：令和5年度（2023）】

【3年後の目標】

「アートウィーク東京」等の現代アートを振興するイベントが東京を代表するアートイベントに成長し、現代アートのファン層や将来の購入層の裾野を広げている。Tokyo Artist Accelerator Programを経た若手アーティストが東京のアートシーンに接続され市場での活躍につながっている。

【2025年度実績】

- アートウィーク東京〔2025年11月5日～9日 5日間〕
＜参加人数 約50,000人＞
 - ・美術館やギャラリーなど約50のアートスポットを巡る周遊バス事業
 - ・大倉集古館での子供若者向け鑑賞ガイドツアー（全6回）
コレクター向けガイドツアー（全3回）
 - ・アートコレクター志望者向けのスタートアップセミナー（全3回）
 - ・国内外からキュレーターを招聘した国際シンポジウムを開催
 - ・現代アートへの理解・学びを深掘りするオンライントークをウェブ配信
 - ・キュレーター向けの国際シンポジウム

- アートを軸に音楽やファッション、エンタメ等周辺分野との連携を通じて多くの人々が現代アートに触れるきっかけとなるイベント「MEET YOUR ART FESTIVAL2025」を民間事業者と共催で実施

- 「Tokyo Artist Accelerator Program」
 - ・8か月間にわたるメンタリングによって、アーティストの語る力の向上とコンセプトの強化を目指す伴走型支援プログラムを実施（12名のアーティストを支援）
 - ・成果発表としてアーティストが作品コンセプトや制作背景を現代アート関係者等へ向けて語る「TAAP Live（プレゼンテーションステージ）」を開催〔2025年11月8日～11日 4日間〕

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アートウィーク東京	実施準備 → ★実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
コレクター裾野拡大の 取組（セミナー・子供 向けガイドツアー等）	実施準備 → ★実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
キュレーター シンポジウム	実施準備 → ★実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
Tokyo Artist Accelerator Program	制作・発信支援 → ★ 発表の場の提供 ☆ 広報発信 → 募集審査 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
民間と共催による アート振興事業	実施準備 → ★実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	

5-2 ライフウィズアート

【事業概要】

[ライフウィズアート助成]

アート作品を都民の日常生活の中に根付かせて、アーティストの活動領域を広げる基盤整備を進めることで、芸術文化に携わる人材を増やし、好循環を生み出していく。【事業開始年度 令和3年度(2021)】

[ライフウィズアート事業]

「有楽町アートアーバニズム(YAU)」実行委員会と共同でアートとビジネスのコミュニティ形成や創作環境の整備等に取り組むほか、東京藝術大学とも連携してアートコーディネーター人材の育成に取り組むことで、アートにおけるエコシステムの形成を目指す。【事業開始年度 令和4年度(2022)】

【3年後の目標】

アートとビジネスのコミュニティ形成や支援人材の育成等により、アーティストや担い手の活動基盤が拡大されている。それにより都民が暮らしの中で芸術文化に触れる機会が増えている。

【2025年度実績】

[ライフウィズアート助成]

アート作品等を通じた交流機会の創出や作品を所有することによる楽しみ方の提案など、本物のアートに触れる機会を創出する事業を支援

助成上限額 : 2,000万円

助成率 : 1/2

申請受付 : 2025年5月23日～6月25日

採択件数 : 5件(申請:23件)

[ライフウィズアート事業]

アーティストと企業のマッチングに向けた取組等を民間団体と連携して実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
ライフウィズアート事業	アートとビジネスのコミュニティ形成 コーディネーター等の育成 等 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
ライフウィズアート助成	公募・助成 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	

5-3 東京アートブックフェア

【事業概要】

アート出版に特化した日本で初めてのアジア最大級の民間主催のブックフェアを東京都現代美術館を会場に開催し、芸術文化の新たな楽しみ方を創出するとともに、若手作家の支援や海外への発信にもつなげる。【事業開始年度 令和4年度(2022)】

【3年後の目標】

集客力のあるアートブックフェアを活用することで、新たな切り口で芸術文化に触れる都民が増えている。

【2025年度実績】

会期：2025年12月11日～14日、12月19日～21日(計7日間)

会場：東京都現代美術館

備考：アートブックフェアにおいて作家によるトークイベント等を実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アートブックフェアの開催	アートブックフェアの準備・実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
作家支援	若手作家を中心としたトークイベント実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	
交流プログラム	海外招聘、関連プログラムの実施 海外ABFへの派遣 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆ ☆ ☆	

※キッズ・ユース・プロジェクト（再掲）
 アート・ハブ・プロジェクト（再掲）
 海外発信プロジェクト（再掲）
 アーティスト・ステップアップ・プロジェクト（再掲）
 担い手育成・支援&創作環境向上プロジェクト（再掲）

【事業概要】

世界の第一線で活躍するアーティストによる展示に加え、都が支援してきた若手アーティストの才能を国内外に発信する国際美術展 TOKYO ATLASを臨海部で開催

【事業開始年度 令和7年度（2025年度）】

【3年後の目標】

- ・芸術文化の敷居が低くなり、都民が芸術文化に触れ、参加する機会が増えている。
- ・アートを軸にした企業間ネットワークが形成されている。
- ・都が支援してきたアーティスト・アート人材が国内外で活躍している。

【2025年度の実績】

6月 「東京国際芸術祭実行委員会」を立ち上げ

7月 美術展の開催や会場エリア、目的等をプレス発表

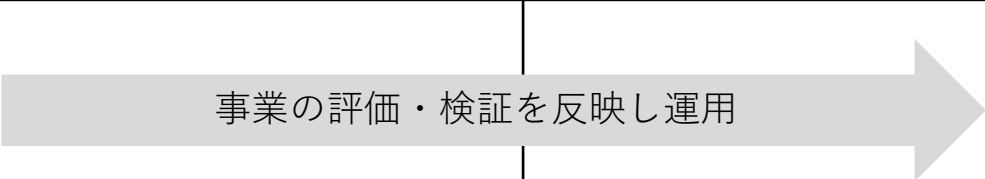
12月 美術展の正式名称と開催概要（日程・会場等）をプレス発表

2月 実行委員会名称を「東京国際文化芸術祭実行委員会」に変更

3月 記者発表会を実施。アーティストック・ディレクターや美術展のみどころ、参加アーティスト（一部）、キービジュアル等を発表

※年間を通じ、作品展示・企画や、施工・運営計画、協賛企業の獲得などの取組を推進

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
国際美術展の開催	国際美術展の開催 ☆		

プロジェクト 6

アート & エンターテインメントプロジェクト

6-1 TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL (サラダ音楽祭)

6-2 東京舞台芸術祭

6-3 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり

6-4 六本木アートナイト

6-5 恵比寿映像祭

6-6 芸術文化魅力創出助成

6-7 東京国際文化芸術祭

(再掲) 1-2 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～

(再掲) 1-11 江戸東京伝統芸能祭

6 - 1 TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL (サラダ音楽祭)

【事業概要】

Sing and Listen and Dance～歌う！聴く！踊る！をコンセプトに東京都交響楽団（都響）と東京芸術劇場（芸劇）を中心とした実行委員会の下、民間企業等と連携して誰もが楽しめる音楽祭を開催。ファミリー・子供向け音楽企画や、障害のある方も一緒に鑑賞できるコンサートに、都響の楽員と子供たちの合同演奏や演奏指導等を実施し、多様性と調和（社会的包摂）の推進・次世代育成を目指すオリンピックレガシー事業として展開する。また、地域コミュニティ等と連携し、多摩や島しょでも地域差なく音楽に触れられる機会を提供する。【事業開始年度 平成30年度（2018）】

主催：サラダ音楽祭実行委員会（東京都、公益財団法人東京都交響楽団、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）、豊島区、三菱地所株式会社、東武鉄道株式会社）

【3年後の目標】

コンサート等の企画を通じて、社会的包摂の推進、地域で音楽を気軽に触れる機会の提供を進めるとともに、東京都交響楽団（都響）の音楽教育への知見や、都響の楽員を活用する教育プログラムを音楽祭の中心事業のひとつに据え、体験・鑑賞・教育を包括した特色ある音楽祭として定着し、さらに多くの都民が参加できる音楽祭として発展している。

【2025年度実績】

[メインプログラム] 2025年9月14日(日)、15日(月・祝)

会場：東京芸術劇場／池袋エリア

メインコンサート、OK！オーケストラ、親子で楽しむダンス、子供向けオペラ等 ※このほか、PRコンサートや各種ワークショップ等を実施

[スペシャルプログラム]

・SaLaDスプリングコンサート 2025年5月3日(土・祝) 会場：日比谷公園大音楽堂

・SaLaDプレミアムコンサート 2025年8月27日(水)28日(木)、9月25日(木)26日(金)、10月13日(月・祝)14日(火)

会場：西東京、狛江、昭島、多摩、日野、町田 ※このほか、多摩島しょ地域で小規模公演を3回実施

・OK！オーケストラ in 多摩 2025年6月22日(日)、6月28日(土)、9月7日(日)

会場：小平、福生、小金井

[教育プログラム]

都響の楽員から直接指導を受け、成果発表会としてメインプログラム当日に楽員と共に弦楽アンサンブルを披露する「都響メンバーとLet's弦楽アンサンブル」等を実施

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
コンサート、ワークショップ等の企画・実施	開催準備 → ★ サラダ音楽祭開催 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

6 - 2 東京舞台芸術祭

【事業概要】

東京を国際的な舞台芸術のプラットフォームとし、東京都内全域で実施する多彩な舞台芸術を通して世界とつながることを目指した都市型総合芸術祭。令和7年度から名称を「東京舞台芸術祭」に変更し、新たな芸術との出会いや海外発信、人材育成など、舞台芸術の発展に寄与する取り組みを進化させるとともに、誰でも芸術文化を楽しめるようなフェスティバル要素を充実させた。【事業開始年度 平成28年度（2016）】

主催：東京舞台芸術祭実行委員会（東京都、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団））

【3年後の目標】

多彩な舞台芸術の国内外への発信拠点となるとともに、舞台芸術界をリードする人材の交流が図られ、舞台芸術のプラットフォームとしての東京のプレゼンスが向上している。インバウンドを含む多くの人々が東京に来訪し、都民も含め身近に舞台芸術に親しむ人が増えることに貢献している。

【2025年度実績】

「東京舞台芸術祭」は、東京都内で実施する多彩な舞台芸術を通して世界とつながることを目指し、昨年度までの豊島区池袋地域から、都内全域にエリアを拡大して開催した。


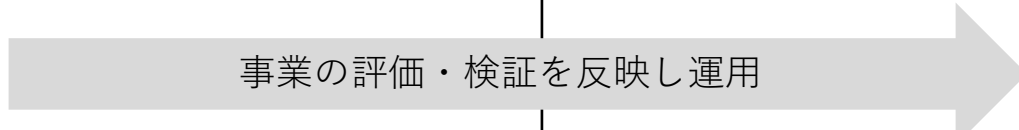
会期：2025年9月1日（月）～11月3日（月・祝）

会場：東京芸術劇場、GLOBAL RING THEATRE〈池袋西口公園野外劇場〉、東京国際フォーラム 地上広場ほか、東京都内全域

来場・参加者数：976,627人 視聴回数：1,302リーチ

- ・舞台芸術祭「秋の隕石2025東京」：国際色豊かな舞台作品の上演等
- ・Performing Arts Base 2025：パフォーマンスやトークショーを連続的に展開
- ・Open Call Programs：都内全域で上演される68作品が参加
- ・東京都内演劇祭ネットワーク：6つの演劇祭と連携

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京舞台芸術祭	開催準備  ★ 舞台芸術祭開催 (9～11月) ☆	 事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

6-3 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり

【事業概要】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加できる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能のフェスティバルを実施する。【事業開始年度 平成25年度（2013）】

主催：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／NPO法人粋なまちづくり倶楽部

助成・協力：東京都

【3年後の目標】

伝統芸能公演の鑑賞・参加を通じて、日本文化に対する理解や幅広い知識を深めることに貢献するとともに、若手実演家等の活躍の機会を提供することなどにより担い手の育成を図り、次世代へ継承するきっかけとなっている。

また、インバウンドを含む多くの人々が来訪することに貢献している。

【2025年度実績】

神楽坂のまちなかで、伝統文化・芸能に親しめるフェスティバルを開催

開催時期：2025年5月17日（土）、18日（日）

開催場所：神楽坂エリア（毘沙門天善國寺、赤城神社、矢来能楽堂、白銀公園、石畳の路地や路上、歴史的名所旧跡ほか）

プログラム：神楽坂芸者衆の「お座敷遊び体験」、語り芸（講談、浪曲等）、演奏（三味線・箏・尺八等）、舞台（能・日本舞踊等）、伝統芸能に対する疑問や魅力を深く掘り下げるトーク等

来場者数：約2万9千人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
神楽坂まち舞台・ 大江戸めぐり	開催準備・開催(春ごろ) → ★ ☆	事業の評価・検証を反映し運用 → ☆ ☆	

6-4 六本木アートナイト

【事業概要】

六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出する。アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出する。【事業開始年度 平成20年度（2008）】

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合】

【3年後の目標】

若手アーティスト等に参加機会を提供することにより、飛躍につながる創造、発信の場となっている。他のアートイベントとの連携など新たな展開も視野にいれながら、国際発信力のある刺激的なプログラムによって東京の魅力を世界に発信し、インバウンドを含む多くの人々が地域へ来訪することに貢献している。

【2025年度実績】

六本木の街なかで、アート作品、パフォーマンス等を楽しめるフェスティバルを開催



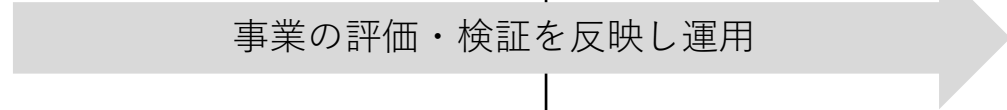
開催時期：2025年9月26日（金）～28日（日）

開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街等

プログラム：RAN Focus（特定の国や地域のアートに注目したプログラム。今回は韓国。）6組のプログラムのほか、約30組のアーティストによるインスタレーション、パフォーマンス、音楽、映像など50以上のプログラム

鑑賞者数：約71万人

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
六本木アートナイト	開催準備・開催（秋）  六本木地域のブランディング  ☆	 事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

6 - 5 恵比寿映像祭

【事業概要】

東京都写真美術館を中心に、映像分野における創造活動の活性化と、映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的とした映像とアートのフェスティバルを開催する。【事業開始年度 平成20年度（2008）】

主催：東京都、東京都写真美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、日本経済新聞社

【3年後の目標】

国際発信および都民への文化還元の強化を主眼とした持続可能な事業へ、バージョンアップした施策・構成のエコシステムを構築する。映像祭における制作委嘱事業により、作家の海外発信を強化するとともに、創作活動の支援を行う。近隣地域文化施設等との共催事業による地域の活性化を促進することで、映像祭として一層成長している。

【2025年度実績】

会期：2026年2月6日～2月23日

※コミッション・プロジェクト&東京都コレクション展（3F展示室）のみ3月22日まで

会場：東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイス各所、地域連携各所ほか

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
恵比寿映像祭	開催準備 → 開催（2月） ☆	 事業の評価・検証を反映し運用	
		☆	☆

【事業概要】

世界に誇る芸術文化都市の実現を目指し、様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のあるプロジェクト等を支援【事業開始年度 令和4年度（2022）】

【3年後の目標】

助成を通じて民間主催のフェスティバルと連携し、都主催の文化事業とあわせて、芸術文化が溢れ 芸術文化による新たな賑わいが一層創出されている。

【2025年度実績】

助成上限額：2,000万円

※デジタル開発サポート、創作環境サポートに係る費用を別途支援

助成率：1/2

申請受付：第1期 2025年3月28日～5月15日

第2期 2025年8月19日～9月24日

採択(申請)：第1期 30 (125) 件、第2期 21 (93) 件

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
芸術文化魅力創出助成	多くの団体・アーティストや参加者が共に作り上げる様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクト等の創造活動、東京の魅力として発信力・持続力のある革新的なプロジェクト等を助成により支援 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

【事業概要】

アート、演劇、ライトアップなど秋冬の多彩なイベントを結び合わせ、象徴的な企画や一体的なプロモーション等を通じて都市の魅力を創出する東京ならではの新たな芸術祭を実施

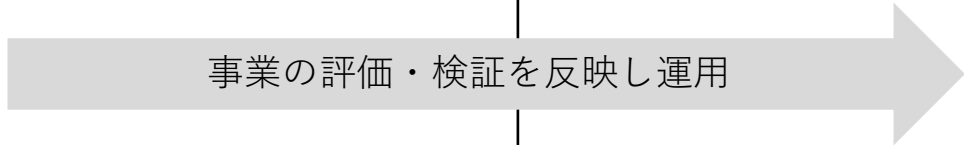
【3年後の目標】

既存イベントの連携を拡大するとともに魅力的な企画を創出し、広く一体的なプロモーションを実施することで、東京国際文化芸術祭が多くの都民に親しまれ、国内外においても「東京の秋は文化芸術が楽しめる」という認識が浸透し始めている。

【2025年度の実績】

準備事業として、芸術祭実行委員会と共催協定を締結のうえ、基本構想や企画、プロモーション等の実施内容の検討、関係者との調整などの来年度に向けた準備を行った。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京国際文化芸術祭	象徴的な企画や一体的なプロモーション等の実施による芸術祭の実施 ☆		
		☆	☆

戦略 3

ハブ機能を強化する

プロジェクト7

アート・ハブ（Art Hub）プロジェクト

7-1 TOKYOアート・ハブの検討

7-2 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」

(再掲) 4-2 シビック・クリエイティブ・ベース東京

(再掲) 5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

(再掲) 9-1 Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)

(再掲) 10-8 アーティストの創作環境の整備

7-1 TOKYOアート・ハブの検討

【事業概要】

東京に集積しているアーティストやプロデューサー、ディレクター、キュレーター、演出家、芸術文化団体、アーティスト・イン・レジデンス等の多様な文化資源を結び付け、世界につなぐハブ拠点を形成し都市の成長につなげていく。その中核として、都民にとっては、最先端の芸術文化が体感でき、誰もが楽しめる場、多様なイベントで都民が直接アーティストと交流できる場、アーティスト等にとっては、東京のアーティストのショーケースや海外発信、最新テクノロジーでイノベーションを創造する場である「TOKYOアート・ハブ」を構築する。

【3年後の目標】

有識者とともに関東アートハブ構想を取りまとめ、その結果に基づき東京の多様な文化資源を結びつけ世界に発信するハブ機能「TOKYOアート・ハブ」の具体的な検討が進んでいる。

また、アーティストへの支援や、ビジネスなどの異分野との連携など、将来導入する機能へとつながる事業が実施されている。

【2025年度実績】

新たな創造を生み出し、東京のアートやアーティストを世界に発信するハブ機能の構築に向け、先行事例を調査。人材育成やネットワーキングの形成等将来ハブに導入する機能へとつながる事業を実施。

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
TOKYOアート・ハブの検討	検討		

【事業概要】

東京都内で活動するアーティストやあらゆる芸術文化の担い手の持続的な活動を支援し、新たな活動につなげるプラットフォームを運営。オンラインを中心に、弁護士や税理士といった専門家等と連携しながら、悩みや困りごとに対応する「相談窓口」、活動に役立つ情報を届ける「情報提供」、活動に必要な知識やスキルを提供する「スクール」の3つの機能で総合的にサポート。【事業開始年度 令和5年度（2023）】

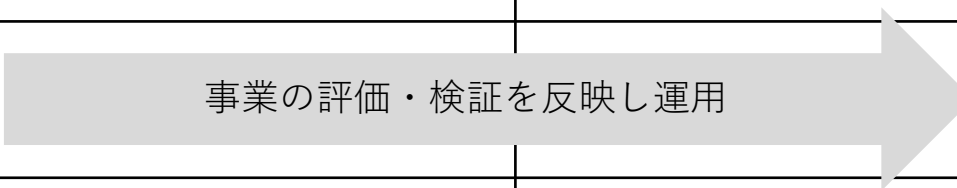
【3年後の目標】

相談窓口、情報提供及びスクールの各機能の充実と認知拡大を図ることで、アーティストや芸術文化の担い手の持続的な活動の更なる後押しをしている。

【2025年度実績】

- ・相談窓口：オンラインを活用し、ジャンルや経験を問わず、多くのアーティスト等からの相談に対応。アートイベントでの出張相談を実施
- ・情報提供：公式ウェブサイト、YouTube、note、LINEなど、複数のメディアプラットフォームを活用して情報を一元的に発信
- ・スクール：創造の現場で必要不可欠な知識から時事的なトピックについての解説まで、9つのテーマで充実したラインアップを提供

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口、情報提供、スクールの3つの機能を備えた東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」を運営 ・アートイベントでの出張相談や芸術系大学への出張講座などアウトリーチ活動を展開 		
情報提供			
スクール			
	☆	☆	☆

プロジェクト 8

海外発信プロジェクト

- 8-1 Instagramを活用した戦略的海外広報
- 8-2 海外都市とのネットワーク形成
- 8-3 海外の劇場とのネットワーク形成
- 8-4 海外の博物館とのネットワーク形成
- 8-5 海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成
- 8-6 THE TOKYO PASS
- 8-7 アートマネジメント人材等海外派遣
- 8-8 江戸文化の魅力発信
- (再掲) 6-7 総合的な国際芸術祭
- (再掲) 5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

8 - 1 Instagramを活用した戦略的海外広報

【事業概要】

Instagramアカウント（Tokyo Arts & Culture）を用いて、動画コンテンツ投稿やライブ配信等を行い、東京の都市の魅力や文化芸術に関する情報を世界中の人々に対して発信することで、都の文化事業への関心を高める。フォロワー数は約20.1万人（2026年1月末現在）【事業開始年度 平成30年度（2018）】

【3年後の目標】

東京で展開される多彩な芸術文化や引き継がれてきた伝統・風景など都市の魅力を発信することで国内外からフォロワーを獲得し、海外の文化芸術系アカウントに肩を並べる質と影響力をもつアカウントに成長している。（目標フォロワー数23万。）

【2025年度の実績】

- ・ 土日・年末年始を除いて月約10回、都内文化施設の催しや文化イベント、パブリックアートなどのアートシーンを投稿。リール（ショート動画）投稿を4割程度に増やし、エンゲージメント数（ページ閲覧数・いいね数）が増加
- ・ フォトコンテストキャンペーンを実施（2025年12月～2026年2月）したほか、インフルエンサーを起用した江戸文化に関するコラボ投稿を実施。フォロワー増加やエンゲージメント獲得により、東京の芸術文化の魅力の発信力を強化。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
Instagramを活用した戦略的海外広報	・ インスタ投稿 ・ キャンペーンの実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

8-2 海外都市とのネットワーク形成

【事業概要】

ロンドン市長の提唱により2012年から発足した世界都市文化会議（World Cities Culture Forum, WCCF）に参加し、各都市の行政実務者間で芸術文化への取組や課題等について共有・議論・情報交換を実施。年次サミット参加等を通じて海外都市とのネットワークを強化し、海外都市の好事例を踏まえた取組の検討を行うとともに、都の文化政策を海外発信・展開に結び付けていく。

【3年後の目標】

WCCF参加都市等との交流を活性化し文化施策や文化資源の情報交換等を進めることで都施策の一層の充実が図られている。

【2025年度の実績】

- ・世界都市文化サミット2025（アムステルダムサミット）に出席し、“文化のための空間”というテーマのパネルセッションでは、江戸文化の発信・START Boxの取組状況や課題についてプレゼンテーションを行う等、海外都市に向けた政策発信及びネットワーク構築を実施（2025年10月13日～10月18日）
- ・3年に一度発行されるWCCR（World Cities Culture Report）作成に参画
- ・WCCF年次サミットの前後の開催都市の連携として、アムステルダム市と1年間の交流プログラムの実施について合意
- ・WCCFサミットの東京初開催に向け、WCCF代表団が来日。サミット会場の視察のほか、文化政策についての意見交換を実施（2026年3月）

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
WCCFへの参加	実施準備 → ★東京サミット開催 アムステルダム市との交流プログラムの実施 → ☆	実施準備 → ★サミット参加 海外都市との共同プログラム等の検討・実施 → ☆	実施準備 → ★サミット参加 海外都市との共同プログラム等の検討・実施 → ☆

8-3 海外の劇場等とのネットワーク形成

【事業概要】

海外の劇場やフェスティバル等との間で提携協定を締結するなどネットワークを形成し、共同制作や両都市での公演等の事業につなげる。

【3年後の目標】

東京文化会館では改修工事期間中も継続して海外劇場等との共同委嘱や制作による文化交流事業や若手クリエイターの国際的な活躍機会の創出を継続的に実施し、アジアにおける文化発信拠点としての地位の確立を目指すとともに、東京芸術劇場においても、若手クリエイターが国内で制作したクリエイションを海外で発表することを目指し、引き続きネットワーキングを強化することで、海外との共同制作や公演等の事業が活発に展開されている。

【2025年度の実績】

[東京文化会館]

野平一郎プロデュース「フェスティヴァル・ランタンポレル～時代を超える音楽～」の第2弾を11月13日（木）～17日（月）に実施。ニーム音楽祭Les Volques（フランス）との連携企画によるプログラミングや招聘したヴィオラ奏者の芸術監督を交えたコンサートの開催、共演や作曲家によるマスタークラス、IRCAM（フランス国立音響音楽研究所）との連携企画によるシネマコンサートに若手音楽家の共演や台湾派遣等を実現。IRCAMとの若手クリエイター育成事業の連携も継続的に実施し、次年度以降に向けた関係を強化した。

[東京芸術劇場]

フィルハーモニー・ド・パリとの連携事業、ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場との国際共同制作を実施した。

- ・パリ管弦楽団来日連動マスタークラス開催（6月／約140名）
- ・ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場との国際共同制作『ヨナ』東欧4か国6都市ツアー実施（5-6月／約4,400名）

年度		2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
海外の劇場とのネットワーク形成	東京文化会館	フェスティヴァル第3弾の実施と連携機関の開拓と関係構築。	フェスティヴァル第4弾の実施と連携機関の開拓と関係構築。	フェスティヴァル第5弾の実施と連携機関の開拓と関係構築。
	東京芸術劇場	海外劇場との公演制作・教育プログラムの連携。芸術祭に、海外プレゼンターを招聘し、ネットワークを構築。	今後の海外展開リサーチと国内公演・芸術祭への海外招聘、育成アーティストの海外公演に向けての準備	これまでの取組を継続し、ネットワーキングの強化・深化を図る。

8-4 海外の博物館とのネットワーク形成

【事業概要】

江戸東京博物館がこれまでに築き上げた海外の博物館等との信頼関係を基に実施するシンポジウムや国際交流展を通じて、海外の研究者や機関と積極的に交流を行うとともに、異なる文化背景を持つ市民同士の相互理解と友好を促進する。

【3年後の目標】

2002年から日中韓博物館国際シンポジウムや、2022年に開催した国際交流展「隅田川－江戸時代の都市風景」を始めとする様々な交流を行ってきたソウル歴史博物館において、江戸東京博物館の収蔵資料を用いた国際交流展を準備し、開催する。展覧会の開催を通して、日本の歴史や文化への興味を喚起し、相互理解と友好関係を促進する。

【2025年度の実績】

- ・ ICOM ドバイ大会・CAMOC 年次大会へのオンライン参加
2025年11月12日（水）～14日（金）ドバイ世界貿易センター
- ・ 日中韓博物館国際シンポジウム
2025年9月29日（月）～10月2日（木）ソウル歴史博物館
- ・ ソウル歴史博物館「心の交わり、余韻は波の如く」への特別協力
2025年4月25日（金）～6月29日（日）
当館収蔵品7件を特別貸出 ・ソウル歴史博物館の調査受入れ、クーリエの派遣

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
日中韓3か国4館国際シンポジウムへの参加ならびに発表	東京都江戸東京博物館	瀋陽故宮博物院（中国）	北京首都博物館（中国）
国際交流展の実施	調査・研究	作品選定・準備・実施（予定）	企画・立案
ICOMの主要分科会であるCAMOC（都市博物館のコレクション・活動国際委員会）年次大会への参加ならびに発表	CAMOC年報にて当館の再開館の報告実施予定（時期未定） 年次大会 未定	未定	未定

8-5 海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成

【事業概要】

東京都現代美術館にて海外美術館等諸機関とのネットワークを形成し、キュレーター同士の交流を通じて、海外 諸機関との共同事業につなげる。

【3年後の目標】

東京都現代美術館が海外美術館等諸機関との共同事業の実施等により、日本のアーティストを海外に紹介するとともに東京都現代美術館の海外での発信力を高めている。

【2025年度の実績】

- ・ハン・ネフケンス財団との共同プロジェクト「シャハナ・ラジャニ」で新作映像のインスタレーションを展示。ハン・ネフケンス財団との連携を継続的に発展させる足がかりとなった。
- ・台湾から7名のスタディーツアーを受け入れた。メディアアート、ラーニング事業、アクセシビリティ向上に係る討議を実施した。
- ・日独キュレーター交流事業に協力、ドイツから美術館長を代表する訪問団を受け入れた。
- ・アートウィーク東京の期間中、海外からのVIPツアー90名の受け入れに加え、ディレクターズカンバセーションを共催。東京都現代美術館副館長が挨拶し、世界各地の美術館のリーダーによる討議を行った。
- ・東京アートブックフェア会期中、ゲストカントリーのイタリアと協働し、4展示を展開。国内外から560組の出店があり、来場者は過去最大の37,873人となった。
- ・その他：海外の美術館及び大使館文化部からの展覧会交換のオファー、海外現代美術諸機関との情報交換・作品調査等の来館、ネットワーク構築など2026年2月現在、53機関281人と多数の関係者と連絡調整を行った。

	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
海外の美術館等諸機関とのネットワーク形成	国際展及び巡回展の調査、協働企画の調整、コレクション展及び海外巡回展、人材受け入れ調整	国際展及び巡回展、関連事業の企画立案、関係機関との協働調整、人材の受け入れ	国際巡回展の実施、海外芸術団体との協働

8 - 6 THE TOKYO PASS

【事業概要】

訪日外国人の東京での文化観光体験の拡充を目指した、都内の国公立・私立の博物館・美術館・庭園・動物園・水族園・植物園等の文化施設（51施設：2026年3月末現在）へ入場できる周遊パス。【事業開始年度 令和4年度（2022）】

企画・運営：THE TOKYO PASS -Culture プロジェクト（構成企業・団体：株式会社丹青社、公益財団法人東京都歴史文化財団、公益財団法人東京観光財団、株式会社JTB）

運営事務局：株式会社丹青社

協力：東京都

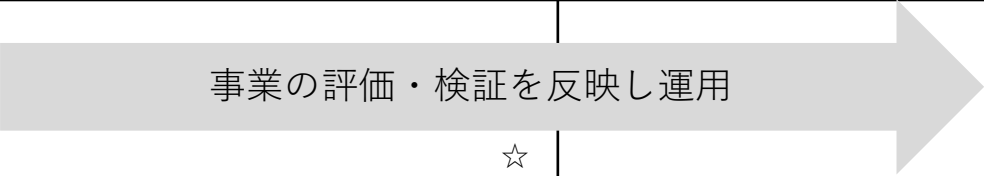
【3年後の目標】

THE TOKYO PASSの提供価値が高まるとともに、本事業の取組を契機として、東京を訪れる外国人観光客が芸術文化を鑑賞する機会が増加している。

【2025年度の実績】

参加施設数：2022年度39施設→51施設へ増

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
参加施設	・新規参加施設の拡充		
海外向け販売促進	・外国人観光客向けの販売促進 ・海外向け広報の実施 ☆		
アプリ調整 独自イベント	・外国人向けユーザビリティの向上		

8-7 アートマネジメント人材等海外派遣

【事業概要】

演出家やキュレーターなどの若手のアートマネジメント人材を海外のフェスティバル等に短期派遣し、海外の先駆的な作品や創作現場に直に触れるとともに、海外専門家とのネットワークを作る機会を提供。国際的な視点に立った創作の機運醸成や、東京と各派遣先との連携の深化、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化に繋げる。

【事業開始年度 令和5年度（2023）】

【3年後の目標】

国際的に活躍するプロフェッショナル人材を目指す若手にとって、海外の専門人材との緊密なネットワーク構築に資する有意な事業として認知され、東京の芸術文化の魅力を世界へ発信する契機となっている。

【2025年度の実績】

- 第1回 派遣人数：3名（応募者数：28名） 時期：2025年8月中旬
派遣先：エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル
- 第2回 派遣人数：3名（応募者数：14名） 時期：2025年9月上旬
派遣先：サンパウロ・ビエンナーレ、イニョチン（ブラジル）
- 第3回 派遣人数：3名（応募者数：8名） 時期：2025年10月中旬
派遣先：ソウル・パフォーミング・アーツ・フェスティバル
- 第4回 派遣人数：3名（応募者数：5名） 時期：2025年11月上旬
派遣先：台北ビエンナーレ
- 第5回 派遣人数：3名（応募者数：42名） 時期：2026年2月中旬
派遣先：ベルリン国際映画祭

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アートマネジメント人材海外派遣	実施準備、公募・海外派遣(21名)の実施、報告会 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

【事業概要】

- ・世界遺産登録も見据え、有識者会議を開催し、江戸文化の価値を整理 【事業開始年度 令和7年度（2025）】
- ・江戸東京博物館リニューアルを機に江戸文化のプロモーションを国内外に展開 【事業開始年度 令和8年度（2026）】

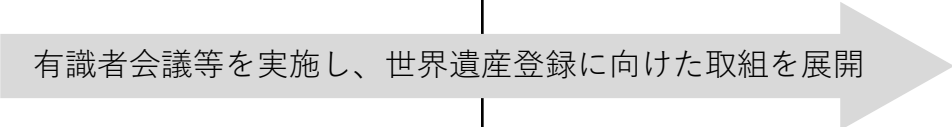
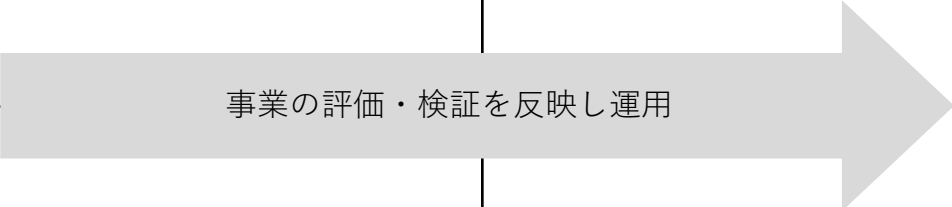
【3年後の目標】

江戸文化の価値の整理や魅力の発信に向けた有識者会議を開催し、世界遺産登録への取組を進めるとともに、江戸文化に関するプロモーションや江戸東京博物館の魅力向上を通じて、訪都外国人の「江戸」＝「東京」の認知度を高める

【2025年度の実績】

- ・有識者会議（江戸文化の魅力発信部会）：6回開催
- ・江戸文化の魅力のプロモーション
 - 世界陸上：街路灯フラッグ 9月1日～9月15日（銀座、日本橋、秋葉原）
 - ブース出展 9月13日～9月21日（国立競技場外構部）
 - デフリンピック：提灯リコグニション 11月15日～11月26日（デフリンピックスクエア） ほか
- ・江戸東京博物館再開館に向けた期待感醸成事業
 - どこでもえどはく：3回／延べ9日間（ららぽーと豊洲ほか）
 - 100日前イベント：12月18日～12月21日（JR両国駅3番線ホーム） ほか

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
世界遺産登録に向けた取組	有識者会議等を実施し、江戸文化の価値を整理	有識者会議等を実施し、世界遺産登録に向けた取組を展開 	
江戸ブランドのプロモーション	江戸文化の魅力を国内外に浸透させるためのプロモーションや、季節ごとに都内各地で行われる江戸にゆかりのあるイベント等と連携し江戸文化を発信する取組を実施	事業の評価・検証を反映し運用 	
	リニューアルオープンを契機とし、江戸東京博物館の魅力を伝えるコンテンツ制作や開業時イベントなどの集中的なプロモーションを展開 ☆		

戦略 4

持続性のある芸術文化エコシステムを構築する

プロジェクト9

アーティスト・ステップアップ・プロジェクト

9-1 Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)

9-2 TOKAS本郷「Emerging」 「Open SITE」

9-3 TOKASレジデンス

9-4 スタートアップ助成

9-5 東京芸術文化創造発信助成

9-6 東京音楽コンクール

9-7 若手音楽家支援事業

(再掲) 5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

【事業概要】

国内で実績があり、更なる飛躍とポテンシャルが期待できる中堅アーティストに賞を授与し、次なるステージにキャリアを
発展させ世界で広く活躍できるよう最適な時期に支援を行う。【事業開始年度 平成30年度（2018）】

【3年後の目標】

海外展覧会への出展など、TCAA受賞者の国際的な活躍を通じて、東京のアーティストの評価が高まり、底上げが図られて
いる。

【2025年度の実績】

2023年度に決定した第5回TCAA受賞者2名による東京都現代美術館での展覧会を開催。第6回TCAA選考会を実施し受賞
者2名を決定。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
賞の魅力のPRや 広報	賞の特徴および魅力の発信、 賞の実績、受賞アーティスト の活動実績の発信 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆
Tokyo Contemporary Art Award	海外活動支援・海外発信支援 モノグラフ（日英）の作成・公 開	選考・授賞、受賞記念展 の開催	海外活動支援・海外発信支援 モノグラフ（日英）の作成・ 公開

9 - 2 TOKAS本郷「Emerging」「OPEN SITE」

【事業概要】

TOKASにおいて、日本国内を拠点とする35歳以下のアーティストを対象に公募を行い、個展開催の機会を提供を提供する「Emerging」や、時代性に即した視点でこれまでにない表現を探求し、社会と向き合う創造的な企画を募集する公募プログラム「OPEN SITE」のサポートを強化することで、若手から中堅のアーティストのステップアップのための支援を充実させる。

【事業開始年度 平成13年度（2001）（TOKAS Emerging）、平成28年度（2016）（OPEN SITE）】

【3年後の目標】

展覧会の設営、作品の輸送などのサポートにより展覧会を充実させるとともに、自らを紹介するための小冊子を二か国語で作成しPRすることにより、更なる活躍の機会を得ている。

【2025年度の実績】

[Emerging]

154組の応募から選出されたさまざまな表現に取り組む新進アーティスト4名の個展を開催。制作や展覧会カタログの制作等を行う。

[OPEN SITE]

570企画から選出された展示部門4企画、パフォーマンス部門2企画、dot部門2部門を実施。さらにTOKAS推奨プログラムを実施。制作支援のほか、記録冊子の制作（展示部門）等を行う。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
Emerging支援	Emergingの公募、前年度公募によるプログラムの実施（展示設営、輸送支援、カタログ制作等） ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	
OPEN SITEの活用	OPEN SITEの公募、前年度公募によるプログラムの実施（展示設営、輸送支援、カタログ制作等） ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	

【事業概要】

TOKASレジデンシーや提携する派遣先での一定期間の滞在を通じて若手アーティスト・キュレーターの制作やリサーチ機会を生み、滞在中はオープン・スタジオ等のパブリック・プログラムを通じて、活動発表の場も提供する。また、実績のあるアーティストやキュレーターとのネットワーキングや、メンタリング等を実施することで、アーティストの成長につなげる。

【事業開始年度 平成18年度（2006）】

【3年後の目標】

従来のプログラムに、海外キュレーター招聘や国内のアーティストの創作環境向上、活躍の機会を増やすためのプログラムを加え、若手アーティストの国内外での活躍に繋げている。

【2025年度の実績】

〔レジデンスプログラム〕

- (1) 海外クリエイター招聘プログラム：6名を海外より招聘
- (2) 二都市間交流事業：7名を海外へ派遣し、6名を海外より招聘
- (3) リサーチ・レジデンス・プログラム：4名を海外より招聘
- (4) 芸術文化・国際機関推薦プログラム：3名がレジデンスに滞在

〔キュレーターインレジデンス〕

キュレーター招聘プログラム：6名を海外より招聘

〔国内レジデンス〕

国内クリエイター制作交流プログラム：2名がレジデンスに滞在

国内若手クリエイター滞在プログラム：2名がレジデンスに滞在

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
TOKASレジデンシー	レジデンスプログラム ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆
キュレーター インレジデンス	キュレーター招聘プログラムの公募、 前年度の公募プログラムの実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆
国内レジデンス	国内若手クリエイター滞在プログラムの公募、 前年度の公募プログラムの実施 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆

9-4 スタートアップ助成

【事業概要】

東京を拠点とし東京の芸術シーンの次代を担うことが期待される個人（新進の芸術家等）又は新進の団体（芸術団体、実行委員会等）が実施する芸術活動に対し助成する。【事業開始年度 令和3年度（2021）】

【3年後の目標】

東京の芸術シーンでの活動に意欲がある新進の芸術家や芸術団体がチャレンジする新たな芸術創造活動を支援し、今後の芸術活動へのステップアップに寄与している。

【2025年度の実績】

助成上限額：個人30万円、団体100万円

助成率：10/10

申請受付：【第1回】2025年4月22日～5月22日

【第2回】2025年8月25日～9月25日

【第3回】2025年12月22日～2026年1月22日

採択(申請)件数：【第1回】46(232)件【第2回】46(192)件【第3回】未発表

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
スタートアップ助成	新進の芸術家や芸術団体等がチャレンジする新たな芸術創造活動を助成により支援 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

9 - 5 東京芸術文化創造発信助成

【事業概要】

主に若手・中堅の芸術家や芸術団体等をターゲットに、活動の目的や助成期間に応じた4つのカテゴリー（令和7年度に海外映画祭参加活動のカテゴリーⅣを新設）により公募を行い、東京の都市魅力の向上に寄与する多様な芸術の創造活動及び国内外への発信活動とその担い手を支援する。【事業開始年度 平成24年度（2012）】

【3年後の目標】

様々な活動分野や複数年を対象とする助成など重層的な支援を通じて、多様な創造活動の担い手を後押ししている。

【2025年度の実績】

（1）カテゴリーⅠ 単年助成

①都内での芸術創造活動

（団体：200万円個人：50万円かつ、助成対象経費の1/2以内） 採択件数：95件（申請件数：554件）

②国際的な芸術交流活動

（団体：400万円個人：50万円かつ、助成対象経費の1/2以内） 採択件数：26件（申請件数：105件）

（2）カテゴリーⅡ 長期助成

（【2年間】800万円【3年間】1,200万円 かつ、助成対象経費の1/2以内） 採択件数：2件（申請件数：23件）

（3）カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業

（単年:100万円、長期2年400万円、3年600万円、かつ助成対象経費の2/3以内）

①単年助成 採択件数：4件（申請件数：40件）

②長期助成 採択件数：3件（申請件数：16件）

（4）カテゴリーⅣ 海外映画祭参加活動

（【個人・2年間】200万円【個人・3年間】300万円【団体・2年間】400万円

【団体・3年間】600万円かつ、助成対象経費の1/2以内） 採択件数：9件（申請件数：21件）

・別途創作環境サポート費（上限10万円）助成率10/10

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京芸術文化創造発信助成	東京の芸術文化の魅力向上させ、世界に発信する創造活動や、発表だけでなく、作品制作のプロセスを含めた活動を助成により支援 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

9-6 東京音楽コンクール

【事業概要】

芸術家としての自立を目指す可能性に富んだ新人音楽家を発掘し、育成・支援を行うことを目的として東京文化会館で音楽コンクールを実施する。

【3年後の目標】

海外との連携により、東京発の世界的アーティストの輩出を目指し、東京音楽コンクール入賞者の海外での研鑽・活躍の場を創出する。

【2025年度の実績】

第23回東京音楽コンクールを開催（応募総数421名）し、優勝者3名によるコンサートを開催した。

海外からの応募も31名と前年比115%に増加し、2名が入賞した。✕切日前に募集人数の上限に達した部門は3部門中2部門となった。

入賞者を東京文化会館チェンバーオーケストラや舞台芸術作品、各種コンサートやマスタークラス等に参加させ、自主事業への年間の延べ起用数は12月末現在で304人。国内外での研鑽と活躍機会を増加させた。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
コンクールの運営	第24回東京音楽コンクールの実施 課題曲・審査体制等の検証 研鑽・活躍の場の創出（成果発表） ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

9 - 7 若手音楽家支援事業

【事業概要】

東京芸術劇場が実施している芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（GOA）の卒団生を中心に、イベント等での発表の機会を提供し、本格的なプロフェッショナルになる前の足がかりとなるような経験を積んでもらうことで若手音楽家のステップアップを支援 【事業開始年度 令和7年度（2025）】

【3年後の目標】

若手音楽家のステップアップを支援することにより、質の高い音楽家の輩出に繋がる好循環を生み出す。また、地域やまちなかでアーティストによる音楽を気軽に鑑賞できる場を広げ、東京の文化的環境を楽しんでいる人の増加に寄与する。

【2025年度の実績】

芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド（GOA）卒団生を中心に都庁内外のイベント等で依頼演奏を実施。若手音楽家に発表の機会を提供した。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
若手音楽家支援	イベント等での発表の機会を提供 周知・広報 ☆	☆	☆



プロジェクト10

担い手育成・支援&創作環境向上プロジェクト

10-1 タレンツ・トーキョー

10-2 とびらプロジェクト

10-3 アート人材の育成・活動支援事業

10-4 芸術系大学等との連携

10-5 芸術文化団体等とのネットワーク会議

10-6 美術館・博物館とのネットワーク会議

10-7 アート・プロボノ等

10-8 アーティストの創作環境の整備

10-9 東京ライブ・ステージ応援助成

10-10 近現代住宅建築の文化的活用・発信事業

(再掲) 7-2 東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」

(再掲) 10-8 TOKASレジデンシー

(再掲) 5-4 国際美術展 TOKYO ATLAS

【事業概要】

東京からの文化の創造・発信を強化するため、映画分野における「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に招聘して実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。また、修了生の作品の上映会を実施する。【事業開始年度 平成22年度（2010）】

【3年後の目標】

映画分野における次代を担う「タレンツ」に対し、ネクスト・マスターズ・サポート・プログラムなどの継続的支援を行い、国際映画祭等で活躍する映画作家やプロデューサーの輩出を続けることで、東京が映画分野のアジアのハブとして、国内外から認識されている。

【2025年度の実績】

- ・タレンツ・トーキョー（レクチャーラボ）の実施
参加者応募選考により選ばれた17名が参加し、タレンツ・トーキョー2025を実施
会場：有楽町朝日ホールほか
期間：2025年11月24日（月）から11月30日（日）までの7日間
- ・修了生作品特別上映会の実施（新規）
「タレンツ・トーキョー2025」のプレイベントとして、修了生3名の作品を上映し、上映後に監督トークを実施
会場：東京都写真美術館ホール
期間：2025年11月8日（土）、11月9日（日）の2日間
来場者数： 延べ465名
- ・ネクストマスターズサポートプログラム（NMSP）の実施
修了生の応募選考により、企画開発ファンド15名、プロモーションファンド4名、フェロークシップ21名（春7名・秋9名・冬5名）を支援

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
タレンツ・トーキョー	○レクチャーラボ ★ 実施（11月） →	事業の評価・検証を反映し運用 →	☆
	○NMSP 公募・審査・実施 ☆		

10-2 とびらプロジェクト

【事業概要】

東京都美術館と東京藝術大学と市民とが連携し、アートを通してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト。広く一般から集まったアート・コミュニケータ「とびラー」と、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家がともに美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぐ活動を展開する。

【事業開始年度 平成24年度（2012）】

【3年後の目標】

とびらプロジェクトの任期満了者が都立文化施設や全国各地で活躍するなど、東京都美術館を中心としたアートを介したコミュニティのネットワークが広がり好循環が生まれている。

【2025年度の実績】

- ・一般公募の市民である12期、13期、14期のアート・コミュニケータ「とびラー」141名と活動
- ・14期「とびラー」を対象に基礎講座（全6回）を実施
- ・美術館での実践的な場面を想定した実践講座3種（鑑賞実践講座全8回、建築実践講座全7回、アクセス実践講座全8回）を実施
- ・とびらプロジェクトオープンレクチャー（vol16）を実施
- ・とびラーの自主的な活動「とびラボ」を実施
- ・「とびラボ」から発案された企画を東京都美術館にて実施
- ・募集説明も兼ねたとびらプロジェクトフォーラムを実施
- ・15期とびラーを募集、選考

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
とびらプロジェクト	美術館を拠点とした学びのコミュニティの醸成 とびラーによる企画、実施 基礎講座、3種の実践講座を開催 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

10-3 アート人材の育成・活動支援事業

【事業概要】

アーティスト等の継続的な活動への支援や活躍の場の拡大に向け、アート領域とビジネス領域をつなぐ人材養成プログラム（仮称）等を実施 【事業開始年度 令和7年度（2025）】

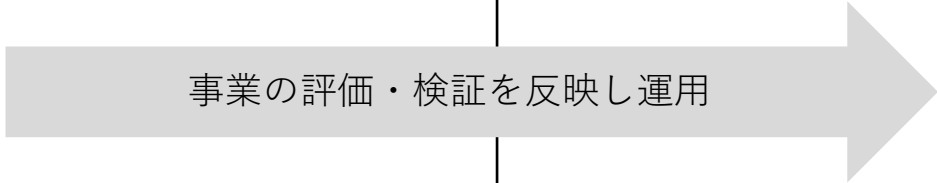
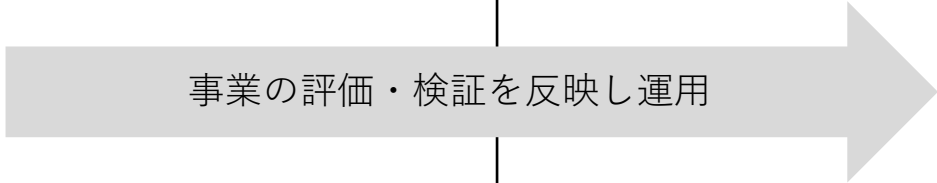
【3年後の目標】

人材データベースの構築や、アート領域やビジネス領域をつなぐ人材を養成することにより、アーティストを支える担い手が増え、芸術文化の持続的な発展に寄与している。

【2025年度の実績】

- ・アート人材データベースの構築に向け、有識者ヒアリング、要件定義等を実施
- ・アート領域とビジネス領域をつなぐ人材を養成するため、ワーキンググループを立ち上げ、求められる人材を分析の上、養成カリキュラムを検討
- ・子供向け芸術文化体験コーディネーター養成プログラムを新規開講し、子供たちの芸術文化体験を実現させる人材を養成（33名を予定）

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アートコーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・アート人材の情報を集約し、継続的な支援や活躍の場の拡大に活用 ・アート領域とビジネス領域をつなぐ人材養成プログラム（仮称）新規開講 ・子供向け芸術文化体験コーディネーター養成プログラムで、子供たちの芸術文化体験を実現させる人材を養成等 ☆ 	<div style="text-align: center;">  <p>事業の評価・検証を反映し運用</p> </div>	<div style="text-align: center;">  </div>

【事業概要】

芸術系大学等との会議体を立ち上げ、都と大学等との共有の場を設けるとともに大学側のニーズを把握し、新人アーティスト等が持続的に活動できるよう施策へ反映する。【事業開始年度 令和5年度（2023）】

【3年後の目標】

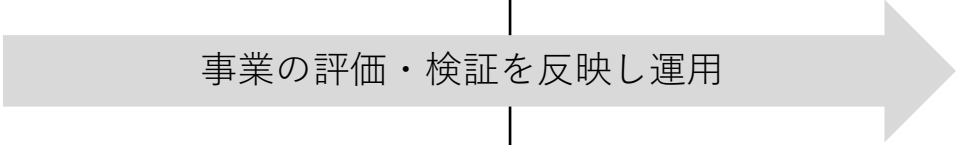
教育現場から見える課題を新人アーティスト向けの支援策に反映して創作環境の改善に結び付けることや、こども向けの芸術文化体験事業で連携を図り若年層の興味関心を醸成するなど連携を深めることで、東京からアーティストが輩出され続ける土壌が一層形成されている。

【2025年度の実績】

「芸術系大学等との連携会議」を開催し、アーティスト等に対する支援や東京都の取組等の情報を提供するとともに、「ネクスト・クリエイション・プログラム」や「東京芸術文化相談サポートセンター」について意見交換を実施。

開催時期：2025年7月

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
芸術系大学等との連携	会議開催 随時の情報提供 ☆	 事業の評価・検証を反映し運用	
		☆	☆

10-5 芸術文化団体等とのネットワーク会議

【事業概要】

芸術文化団体等とネットワークを形成し、必要な情報提供や意見集約に係る会議を行うとともに、都の施策に反映していく。

【事業開始年度 令和4年度（2022）】

【3年後の目標】

ネットワーク会議等を通じて、行政施策の方向性を共有し支援策や事業で連携を図り、芸術文化団体等が継続的に充実した活動ができるよう、行政課題や現場のニーズを反映した施策を展開できている。

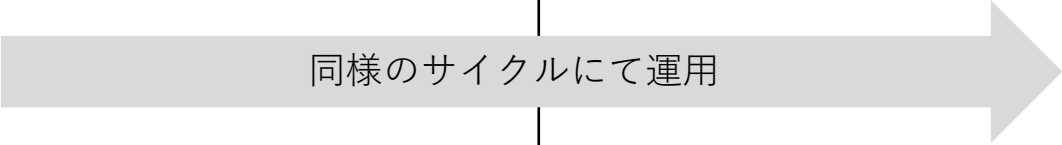
【2025年度の実績】

芸術文化団体とのネットワーク会議を実施し、アーティスト等に対する支援や東京都の取組等の情報を提供するとともに、芸術文化へのアクセシビリティ向上やハラスメント防止に向けた取組について等意見交換を実施。

開催時期：2025年7月・2026年2月

参加団体：のべ42団体参加

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
芸術文化団体等とのネットワーク会議	会議開催 随時の情報提供 ☆	同様のサイクルにて運用 	
		☆	☆

10-6 美術館・博物館とのネットワーク会議

【事業概要】

新たに都内美術館・博物館と東京都がネットワークを構築し、意見交換できるプラットフォームとして、美術館・博物館ネットワーク会議を立ち上げ、必要な情報提供や意見集約に係る会議を行うとともに、都の施策に反映していく。【事業開始年度 令和7年度（2025）】

【3年後の目標】

ネットワークが構築され、共生社会の実現や持続可能な社会に向けて美術館・博物館が果たすべき役割や好事例等を共有・連携できている。

【2025年度の実績】

美術館・博物館とのネットワーク会議を実施し、「東京芸術文化鑑賞サポート助成」等、各館で活用できる東京都の取組等の情報を提供するとともに、各館で実施している先進的な取組について意見交換を実施。

開催時期：2025年4月・9月

参加施設：のべ178施設参加

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
美術館・博物館とのネットワーク会議	会議開催 随時の情報提供 ☆	同様のサイクルにて運用 ☆	☆

10-7 アート・プロボノ等

【事業概要】

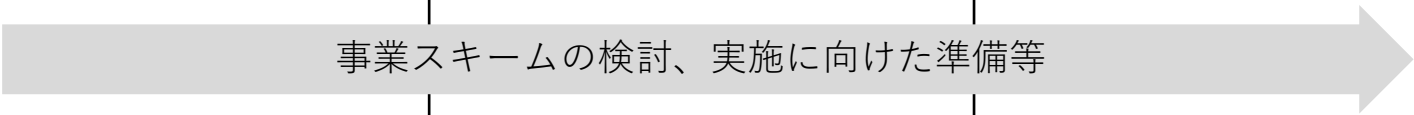
芸術文化活動を支えていくため、都民や民間企業の支援を後押しするとともに、企業で培った経験やスキルを生かしたボランティア活動であるプロボノを増やす取組を推進する。

【3年後の目標】

様々な事業の枠組みの中で都民や民間企業がアーティストと接点を作り支援の機運を醸成しながら、他自治体の先行事例等も参考に芸術文化活動を支える効果的な施策を検討し、事業構築を図っている。

【2025年度の実績】

芸術文化活動へボランティアを活用する施策や事例を調査し、アーティスト育成事業の中で企業との連携・支援につながる取組を検討

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
アート・プロボノ等	事業スキームの検討、実施に向けた準備等 		

【事業概要】

アーティストが活動する上で必要となるアトリエ、稽古場、スタジオ等の利用に係る負担を軽減させることで、継続的な活動を支援する。遊休施設等を活用し、アーティストの創作の場、交流の場として低廉な価格で提供する。

【事業開始年度 START Box：令和5年度（2023）、水天宮ピット：平成22年度（2010）】

【3年後の目標】

START Boxとして継続的にアトリエや稽古場等を提供するほか、地域住民との交流会や作品発表の場を創出するなど、多面的な支援を通じて、アーティスト等の創作活動の場、交流の場の充実が図られている。

【2025年度の実績】

- ・START Box ササハタハツ、START Box お台場、START Box 白鬚、水天宮ピットを運営
- ・START Boxのオープンアトリエや文化イベントでの作品展示等を通じて、地域との交流や発表の機会を創出

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
START Boxの運営	継続的にアトリエや稽古場等を提供するとともに、地域住民との交流を促進 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	
水天宮ピットの貸出運営	継続運営 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	

10-9 東京ライブ・ステージ応援助成

【事業概要】

芸術文化の創造・発信を支援するため、東京の芸術文化の多様性を支える中小の団体による舞台芸術（演劇、舞踊、音楽等）活動に対する支援を実施する。【事業開始年度 令和5年度（2023）】

【3年後の目標】

- ① 舞台芸術鑑賞機会の増加を通じ潜在需要に応え、東京の文化的環境を楽しむ都民が増加している。
- ② パフォーミング・アーツ分野のリスクを軽減し、実績ある団体の都内公演実施・継続に向けたインセンティブを高め、団体の質や運営の改善に係るモチベーションが高まっている。

【2025年度の実績】

助成上限額：100万円

助成率：1/2

申請受付：第1期 2025年5月2日～5月22日

第2期 2025年9月3日～9月25日

採択（申請）：第1期 164（321）件、第2期 143（239）件

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
東京ライブ・ ステージ応援助成	公演内容や運営の質の向上に意欲のある、中堅からベテランまでの実績ある芸術文化団体による舞台芸術活動を、助成により支援 ☆	事業の評価・検証を反映し運用 ☆	☆

【事業概要】

著名建築家による優れた住宅建築について、文化振興や創造活動の場として都民が活用・認知することで、意匠性や歴史的価値を有する住宅の保存につなげるモデル事業等を実施

【事業開始年度 令和8年度（2026）】

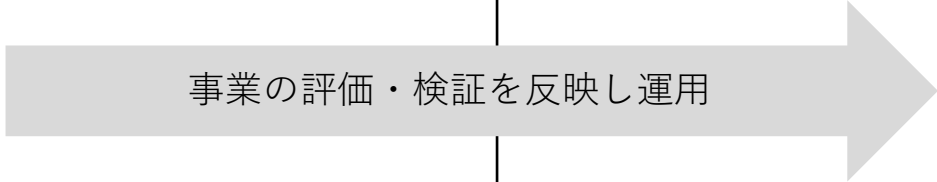
【3年後の目標】

住宅建築の文化的活用のモデルケースの社会認知が広がり、貴重な住宅建築の活用と保存に携わる社会機運が高まっている。

【2025年度の実績】

著名建築家による近現代住宅建築の把握、住宅所有者等へのヒアリング調査を住宅建築の保全継承へのサポート実績のある団体や学識経験者との協働で実施。住宅所有者・管理者と活用意向団体のニーズが合致する物件を対象とし、活用を通じた保存検討を進めるモデル事業の検討と具体化を進め、令和8年度予算を獲得した。

☆…事業の評価・検証

年度	2026年度計画	2027年度計画	2028年度計画
近現代住宅建築の文化的活用・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的住宅活用の気運醸成や担い手との接点形成を促進するモデル事業とプロモーションの実施 ・ 住宅の活用・保存に必要な中間支援体制の整備 <p style="text-align: right;">☆</p>	 <p>事業の評価・検証を反映し運用</p> <p style="text-align: center;">☆</p>	☆